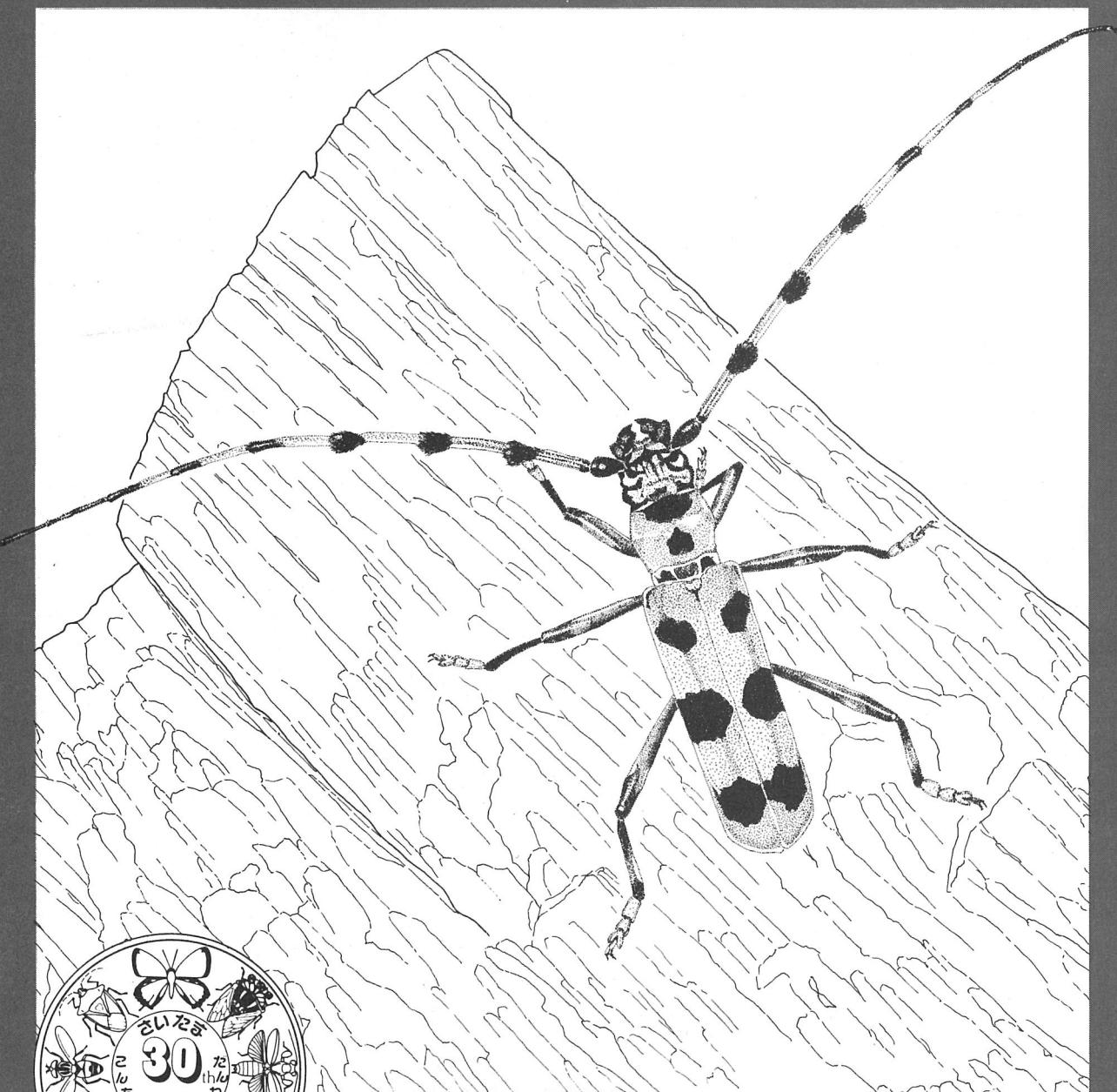


ISSN 0917-5695

寄せ蛾記

No.77 1995.12.10

埼玉昆虫談話会



ルリボシカミキリ

一昨年の6月、北本の県道端でルリボシカミキリを見つけた。驚いたことに、一本の材に次々と飛来し、交尾や産卵をおこなっている。何の変哲もない朽木と瑠璃色とのコントラストが妙だった。その後もいく度か立ち寄ると、瑠璃色の姿があった。この年、やはり市内の他の場所で、また、鴻巣でも採集されたと聞く。まさに一夏の珍事であった。

表紙原画：磯野 治司
表紙デザイン：小堀 文彦

最近5年間に上尾市西部地区でみられた蝶・蛾類

斎藤 清

上尾市は大宮台地の北部に位置し、比較的最近まで武藏野の景観が見られた。しかし、ここ数年間は、東京のベットタウンとして、宅地化が進行し、急激な都市化の波に洗われており、虫に対する環境は著しく悪化している現況にある。1990年4月～1995年4月にかけて筆者が、上尾市西部地区（大谷本郷、向山、壱丁目、平方、畔吉、愛宕、今泉、ほか）で、採集・観察した蝶・蛾類（カトカラ）について報告する。個体数については、以下のごとく6段階で、評価した。

5. 極多産	4. 多 産	3. 普 通
2. 少 産	1. 稀	0. 偶 産

【アゲハチョウ科】

アゲハ	4 :	各地域に多産
キアゲハ	3 :	各地域に普通
アオスジアゲハ	2 :	畔吉；1♂ 95.4.29
クロアゲハ	2 :	広域に見られるが、少ない。
カラスアゲハ	1 :	今泉；1♂ 91.4.27
モンキアゲハ	0 :	向山；1ex. 95.5.2目撃

【シロチョウ科】

モンキチョウ	4 :	畔吉；7♂ 2♀ 93.4.03
キチョウ	3 :	今泉；2♀ 91.4.27
モンシロチョウ	5 :	畔吉；1♀ 93.3.06
スジグロシロチョウ	5 :	畔吉；2♂ 1♀ 93.4.03
ツマキチョウ	4 :	畔吉；8♂ 2♀ 93.4.03、10♂ 1♀ 94.4.17 畔吉地区のハンノキ林には、たねつけ花が繁茂しており、ツマキチョウが多産している。

【シジミチョウ科】

ムラサキシジミ	1 :	向山；1♂ 90.9.09、壱丁目；1♀ 91.8.31
アカシジミ	2 :	向山；2♂ 2♀ 93.6.12、今泉；1♂ 2♀ 94.6.05
ミズイロカガシジミ	2 :	今泉；4♂ 2♀ 90.6.23、平方；2♂ 3♀ 91.6.09 向山；4♂ 1♀ 93.6.12
ミドリシジミ	4 :	今泉；9♂ 4♀ 90.7.01、畔吉；5♂ 7♀ 93.6.20 24♂ 8♀ 94.6.11
トラフシジミ	1 :	壱丁目；1♂ 90.4.21、畔吉；1♂ 94.4.17
ゴイシシジミ	2 :	今泉；10exs. 90.7.01、2exs. 94.5.22
ウラナミシジミ	3 :	向山；5♂ 4♀ 90.10.10、平方；5♂ 6♀ 94.9.23
ベニシジミ	5 :	各地域に多産
ヤマトシジミ	5 :	各地域に多産
ルリシジミ	2 :	畔吉；2♂ 90.8.20、2♂ 93.4.03
ツバメシジミ	3 :	畔吉；3♂ 1♀ 90.4.16、平方；1♂ 3♀ 94.9.23
ウラギンシジミ	4 :	今泉；9♂ 3♀ 90.9.09、愛宕；2♂ 1♀ 94.9.23

今泉地区内にある大正製薬薬草園は、クヌギ・コナラ・ハンノキを主体にした雑木林となっており、春にはフデリンドウ・キンラン・ミツバツチグリ、秋にはリンドウ・ハギ等の野草が咲いて武藏野の面影が残るところである。

蝶もアカシジミ・ミズイロオナガ・ゴイシシジミ等大宮台地で数の少ない種類を見ることができる。

【マダラチョウ科】

アサギマダラ 0 : 壱丁目 ; 1 ♂ 91.8.05

上尾市保存林になっている雑木林上を、舞っていたのを探集した。

【テングチョウ科】

テングチョウ 0 : 愛宕 ; 1 ♂ 91.8.31

1頭のみの、採集である。北西部からの迷蝶とおもわれる。

【タテハチョウ科】

オウラギンスジヒョウモン 0 : 畔吉 ; 2 ♀ 94.9.23

ミドリヒョウモン 0 : 畔吉 ; 1 ♂ 94.9.23

アサマイチモンジ 1 : 畔吉 ; 1 ♀ 94.6.19

イチモンジチョウ 2 : 平方 ; 2 ♂ 91.6.09、今泉 ; 1 ♂ 93.5.14

コミスジ 3 : 各地域に普通

キタテハ 4 : 各地域に多産

ヒオドシチョウ 1 : 今泉 ; 1 ♀ 94.4.17、向山 ; 1 ex. 目撃 94.6.11

ルリタテハ 2 : 今泉 ; 1 ♀ 93.7.04、向山 ; 1 ♂ 90.10.10

ヒメアカタテハ 3 : 向山 ; 1 ex. 90.10.10、平方 ; 3 exs. 94.9.23

アカタテハ 1 : 今泉 ; 1 ex. 90.9.01、壹丁目 ; 1 ex. 91.8.05

コムラサキ 1 : 今泉 ; 1 ♂ 90.9.09、畔吉 ; 黒色型 1 ♂ 目撃 93.7.03

ゴマダラチョウ 2 : 向山 ; 5 幼 90.4.21、今泉 ; 1 ♀ 90.9.09 1 ♀ 92.8.3

ヒョウモン類は、秋期にそば畠に飛来するのが、観察できる。

クロコムラサキは一度だけ、柳の樹液にきているのを目撃している。

キタテハを除いていずれも個体数は少ない。

【ジャノメチョウ科】

ヒメウラミヤノメ 5 : 畔吉 ; 1 ♂ 93.5.03、12exs. 94.4.29

ヒカゲチョウ 2 : 平方 ; 2 ♂ 91.6.09

サキマダラヒカゲ 2 : 向山 ; 2 ♂ 1 ♀ 93.6.12

ヒメジャノメ 3 : 平方 ; 2 ♂ 91.6.09、向山 ; 2 ♂ 95.5.28

【セセリチョウ科】

ダイミョウセセリ 2 : 広域にみられるが少ない

ギンイシジセセリ 3 : 畔吉 ; 8 exs. 90.8.20、11exs. 93.4.16

コチャバネセセリ 2 : 今泉 ; 1 ♂ 90.5.05、2 ♂ 1 ♀ 93.5.14

キマダラセセリ 2 : 畔吉 ; 1 ♂ 90.8.20、1 ♂ 2 ♀ 93.6.27

ミヤチャバセセリ 2 : 畔吉 ; 4 ♂ 5 ♀ 93.5.03、11exs. 94.4.29

オチャバセセリ 4 : 各地域に多産

チャバネセセリ 2 : 今泉 ; 1 ♀ 90.9.09、向山 ; 4 ♂ 2 ♀ 90.10.10

大谷本郷 ; 6 ♂ 93.10.03

イチモジセセリ 5 : 各地域に多産

【カトカラ類】

キシタバ 3 : 壱丁目 ; 2 ♂ 92.8.12、1 ♀ 92.8.24

コシロシタバ 3 : 壱丁目 ; 3 ♂ 2 ♀ 92.8.12

マメキシタバ 2 : 壱丁目 ; 1 ♂ 92.8.12、畔吉 1 ♂ 94.7.21

オニベニシタバ 1 : 畔吉 ; 1 ♀ 94.7.21

フシキキシタバ 0 : 壱丁目 ; 1 ex. 92.7.04

《主要観察地の概観》

1. 向山～壱丁目地区

現在、当地区は新興住宅地になっているが、以前は農家の裏山として雑木林が各所に見られたようである。現在でも所々にその名残として小規模ながら、くぬぎ・こなら・しらかし・えのきなどの雑木林や栗畠がみられる。

個体数は少ないが、雑木林を住処とするクワガタ、オサムシ、カミキリ〔シロジ・クロ・クモ・キマダラ・ミヤマ〕等の甲虫類がみられ、蝶もアカシジミ、ミズイロオナガ等のゼフや樹液に集まるタテハ・ジャノメ類等種類は豊富である。

しかし、開発の波は抑えようもなく昨年まで在った林が今年は伐採されて駐車場や住宅に変わったという場合がしばしば散見される。

2. 今泉地区〔大正製薬薬草園内〕

市内では大規模な雑木林が残っている場所でくぬぎ・こなら・松にハンノキ、エノキ等混在し、下草としてクズ・スイカズラ・イボタが生育している。

毎年、適度な伐採が行われて明るい疎林的環境を維持している。

蝶の種類は多く、特に雑木林を住処とするほとんどの種類を此處で観察できる。薬草園内にはウマノスズクサ・カワラケツメイが見られるのでジャコウアゲハツマグロキチョウ等を探しているが今のところ発見できない。

3. 畔吉地区〔丸山公園西側湿地～荒川沿い河辺林・荒れ地〕

丸山公園の西側は桑・柳・ハンノキにヨシやススキ・スゲ類等で構成された湿地帯となっている。トンボ類が多いが蝶もコムラサキ、アサマイチモンジ等のタテハ類やミヤマチャバネ、キマダラ等のセセリチョウ類が比較的多く見られる。また、ハンノキの若木には6月中旬、ミドリシジミが乱舞する光景がみられる。丸山公園の拡張に伴ってこの湿地に開発の手が入ることが噂されているのでこれらの蝶の行く末が心配される。

荒川沿いの小道を牧場まで歩いていくと、河辺林周辺ではツマキチョウ、コムラサキ、トラフシジミ、ススキ原ではギンイチモンジセセリ、ミヤマチャバネセセリ等が観察できる。

《上尾市西部地区の蝶の棲息環境；その分析結果と考察》

上尾市西部地区で過去5年間に記録した蝶は49種で個体数に応じてグレード区分し表にすると次のようになる。

区分	種類数	区分	種類数	区分	種類数
5 [極多産]	6	3 [普通]	8	1 [稀産]	7
4 [多産]	7	2 [少産]	16	0 [偶産]	5

次に東京都の蝶の好棲息地域群（A～E）¹⁾に基づき49種を分類するとA群の蝶は8種で個体数の多い種で構成されている。

B群の蝶は17種で普通にみられる種で構成されている。

C・I型群の蝶は14種記録されるがウラナミジヤノメを除くと個体数の少ない種で構成され環境の劣化傾向が想定される。

C・II型群の蝶は5種でコミスジを除いてI型と同様に個体数の少ない種で構成されている。

D群の蝶は4種でアカシジミと他地域

群	好棲息地域
A	公園・住宅地
B	野原・耕作地
C・I型	雑木林
C・II型	河辺林・河原
D	丘陵地の雑木林
E	丘陵から山地

からの飛来種（ムラサキシジミ、ヒヨウモン類）で構成されている。
E群の蝶は偶産種のアサギマダラ1種である。

以上の結果より、好都市種とされるA・B群の全体に占める割合は、51%でいずれも個体数の多い種ばかりである。

一方好自然種とされるC～E群は種類数こそ同程度を占有するものの個体数は少ないものばかりである。また、自然度との相関が高いとされる年1化性蝶の指標は18.4%となっていて狭山丘陵のそれ²⁾と比較するとかなり低いレベルにあることがわかる。さらに現在の当地域の環境を検証するために巣瀬が用いた各種類毎の指標算定値³⁾、すなわち環境指標（E I）でみると95となり環境分類では中自然：農村・人里環境に該当する。

以上のことから当地域の蝶の生息環境を考察すると種の構成でみれば、雑木林に代表される武藏野の自然と住宅地が混在した半自然型環境といえるが個体数からみると好都市種が圧倒的に優勢である。従って全体としての環境は「自然が残存している → 人為が加わっている」に移行している段階と結論づけられる。

〈 参考文献 〉

- 1) 西多摩昆虫同好会. 1991. 東京都の蝶 p.128～130 (けやき出版)
- 2) 牧林 功. 1985. 雜木林の小さな仲間たち p.206～227 (埼玉新聞社)
- 3) 巣瀬 司. 1993. 蝶類群集研究の一方法；日本産蝶類の衰亡と保護：84-90 (やどりが特別号)
- 4) 市川和夫. 1990. 狹山丘陵の昆虫；日本の生物 4 (4) : 30-35
- 5) 山崎正則. 1986. 北本市石戸宿の蝶類；寄せ蛾記特集号：717-723
- 6) 守山 弘. 1988. 自然を守るとはどういうことか:237-254 (農山漁村文化協会)
- 7) 久保田繁雄. 1993. 特集・都市化と蝶類の衰亡；昆虫と自然. 28 (12)

(さいとう きよし 〒362 上尾市大字向山 550-1 日建シェトワ 4-202)

上尾市西部地区で見られたトンボ類

斎藤 清

開発のすすむ上尾市にあって、西部の荒川沿いには所々に、雑木林や、小規模な湿地帯が残存し、少數ながらトンボ類を観察できる場所がある。1992年夏～1995年春までの3年間に、当地で観察・採集したトンボは、24種である。

以下その結果をここに、まとめておく。最近のトンボ相を知る上で参考記録になれば、幸いである。

1. 主要観察地点

- | | |
|--------------|--------------|
| A地区 丸山公園内池沼 | B地区 丸山公園西側湿地 |
| C地区 畔吉地区荒川沿い | D地区 大正製薬薬草園内 |

2. 観察・採集できた種類

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| (1) アジアイトンボ | (5) オツネントンボ | (9) ダビドサンエ |
| (2) クロイトトンボ | (6) モノサシトンボ | (10) ウチワヤンマ |
| (3) セスジイトトンボ | (7) ハグロトンボ | (11) オニヤンマ |
| (4) オオイトトンボ | (8) ホンサンエ | (12) ギンヤンマ |

- | | | |
|--------------|----------------|--------------|
| (13) オオヤマトンボ | (17) オオシオカラトンボ | (21) アキアカネ |
| (14) コヤマトンボ | (18) ショウジョウトンボ | (22) ノシメトンボ |
| (15) シオカラトンボ | (19) コフキトンボ | (23) ウスバキトンボ |
| (16) シオヤトンボ | (20) ナツアカネ | (24) コシアキトンボ |

3. 主要種の採集記録

セスジイトンボ	(C) : 1 ♂. 95.4.29
モノサシトンボ	(C) : 1 ♂ 1 ♀. 94.6.19
ハグロトンボ	(C) : 1 ♂ 1 ♀. 94.6.19
	(B) : 1 ♀. 92.6.30
ホンサンエ	(C) : 1 ♂. 95.4.29
ダビドサンエ	(C) : 1 ♂. 94.4.30
ウチワヤンマ	(A) : 2 ♂ 2 ♀. 94.8.27
コヤマトンボ	(B) : 1 ♂. 94.5.29
オオシオカラトンボ	(D) : 1 ♂. 92.8.30
ショウジョウトンボ	(A) : 1 ♂. 94.8.27
オニヤンマ	(B) : 1 ♂. 93.6.20
	(A) : 目撃 1 ♂. 94.8.27

以上の10種は、いずれも数が少なく、普通にみられるトンボは14種ほどで、全体としてその相は、かなり薄い。



上尾市西部の畦吉湿地の遠景。中央はハンノキ林

(さいとう きよし 〒362 上尾市大字向山550-1 日建シェトワ 4-202)

埼玉県甲虫分布資料

荒木 哲

筆者は水棲昆虫に興味を持ち採集を行っているが、1992年4月から1994年3月までの2年間、埼玉県に居住し主に北関東の昆虫を採集した。このうちゲンゴロウ科とその近縁の科についてのデータを記録したい。

発表に先立ち、文献、情報、採集地案内等でお世話になった碓井徹、難倉正人の各氏及び、埼玉産の水棲昆虫標本をお見せいただいた、小堀文彦、南部敏明両氏に厚くお礼申しあげる。尚、データの後に採集者名を明記したが、ないものについては、採集者は全て筆者である。（※印は『埼玉県動物誌』に未記録）

《コガシラミズムシ科 HALIPLIDAE》

1. マダラコガシラミズムシ *Haliplus sharpii* WEHNCKE ※
【北本市】下石戸下 1ex. 1986.7.31. 小堀文彦

《コツブケンゴロウ科 NOTERIDAE》

1. コツブケンゴロウ *Noterus japonicus* SHARP
【北本市】高尾蓮沼 1ex. 1992.4.26. 10ex. 1992.10.3. 5ex. 1992.10.17. 3ex. 1992.10.24.
【羽生市】羽生水郷公園 1ex. 1992.6.28. 1ex. 1992.8.2.

《ゲンゴロウ科 DYTISCIDAE》

1. チビゲンゴロウ *Guignotus japonicus* (SHARP)
【北本市】石戸宿 15exs. 1986.7.12. 小堀文彦 1ex. 1992.4.26.
【戸田市】早瀬 3exs. 1992.4.18.
【蓮田市】緑 1ex. 1992.4.25.
【羽生市】水郷公園 1ex. 1992.6.28.
2. ホソセスジゲンゴロウ *Copelatus weymanni* BALFOUR-BROWNE ※
【戸田市】早瀬 1♂ 1992.4.18. 1♀ 1992.10.18
【浦和市】西浦和 2♂2♀ 1992.4.18.
【北本市】石戸宿 2♀ 1992.4.26. 2♂4♀ 1992.5.27. 3exs. 1993.5.13
3. セスジゲンゴロウ *Copelatus japonicus* SHARP
【北本市】石戸宿 2♂2♀ 1992.4.26. 2♂ 1992.5.27. 1ex. 1992.7.5. 小堀文彦
4. モンキマメゲンゴロウ *Platambus pictipennis* (SHARP) ※
【秩父郡東秩父村】 11exs. 1990.7.15. 小堀文彦
5. キベリマメケンゴロウ *Platambus fimbriatus* SHARP ※
【比企郡嵐山町】都幾川 8exs. 1990.11.12. 小堀文彦
【東松山市】唐子 17exs. 1992.9.2.
6. サワダマメゲンゴロウ *Platambus sawadai* (KAMIYA) ※
【秩父市】浦山冠岩 1ex. 1979.8.1. 南部敏明
7. マメゲンゴロウ *Agabus japonicus* SHARP
【北本市】石戸宿 3exs. 1986.12.14. 小堀文彦 1ex. 1987.3.1. 小堀文彦 1ex. 1992.4.26.
2exs. 1992.5.27. 4exs. 1992.6.6. 1ex. 1992.8.9. 2exs. 1992.9.2.
【鴻巣市】原馬室 2exs. 1992.5.27. 4exs. 1992.5.31. 4exs. 1992.6.6. 11exs. 1992.10.17.
8exs. 1992.10.24.

- 【比企郡吉見町】北吉見 2exs. 1992.6.6.
 【戸田市】早瀬 1♂ 1992.10.18.
8. クロズマメゲンゴロウ *Agabus conspicuus* SHARP
 【鴻巣市】原馬室 1♀ 1992.5.27.
9. キベリクロヒメゲンゴロウ *Ilybius apicalis* SHARP ※
 【北本市】高尾蓮沼 2exs. 1992.10.3. 2exs. 1992.10.17. 1ex. 1992.10.24.
10. ヒメケンゴロウ *Rhantus pulverosus* (STEPHENSON)
 【北本市】石戸宿 1ex. 1985.6.22. 小堀文彦 1ex. 1986.7.12. 小堀文彦 1ex. 1986.9.14. 小堀文彦
 11exs. 1986.9.15. 小堀文彦 6exs. 1986.11.~. 小堀文彦 6exs. 1987.3.1. 小堀文彦
 1♂ 1992.4.26. 1♂ 1992.9.2.
 下石戸下 1ex. 1986.9.~. 小堀文彦
 高尾蓮沼 1♂ 1992.4.26. 1♀ 1992.10.24.
 北袋 1♂ 1992.9.2.
 石戸5丁目 2exs. 1993.7.~. 小堀文彦
 【戸田市】早瀬 1♂ 1992.4.18.
 【蓮田市】緑 1♀ 1992.4.25.
 【鴻巣市】原馬室 1♂ 1992.5.27. 1♂ 1992.5.31.
11. ハイイロゲンゴロウ *Eretes sticticus* (LINNAEUS)
 【北本市】石戸宿 2♀ 1986.9.15. 小堀文彦 1♀ 1986.11.~. 小堀文彦 1♀ 1991.9.22. 小堀文彦
 7♂ 8♀ 1992.8.9. 20♂ 24♀ 1992.8.22. 18♂ 16♀ 1992.9.2.
 石戸5丁目 1♂ 1990.7.~. 小堀文彦
12. オオイチモンジシマゲンゴロウ *Hydaticus conspersus* REGIMBART
 【北本市】石戸宿 1♀ 1992.4.26. 4♂ 4♀ 1992.5.27. 1♂ 1992.5.31. 3♀ 1992.6.6. 2♀
 1992.8.9. 1♀ 1992.9.2. 1♀ 1992.10.3. 1♂ 1993.5.13.
 【鴻巣市】原馬室 1♀ 1992.5.27. 2♀ 1992.6.6. 1♀ 1992.8.9.
13. コシマゲンゴロウ *Hydaticus grammicus* (GERMAR)
 【北本市】石戸宿 2exs. 1986.7.12. 小堀文彦 4exs. 1986.9.15. 小堀文彦 43exs. 1986.11.~. 小
 堀文彦 1♂ 2♀ 1992.5.27. 1♂ 1992.6.6.
 下石戸下 15exs. 1986.9.15. 小堀文彦
 石戸5丁目 1ex. 1990.7.22. 小堀文彦
 高尾蓮沼 1♂ 1992.4.26. 1♂ 1♀ 1992.10.3.
 北袋 4♀ 1992.9.2.
 【大里郡寄居町】三ヶ山 5exs. 1983.8.4. 南部敏明
 【比企郡嵐山町】勝田長沼 1ex. 1987.6.28. 小堀文彦
 【児玉郡児玉町】十二天池 1ex. 1989.8.17. 南部敏明
 【鴻巣市】原馬室 1♂ 4♀ 1992.5.31.

《ミズスマシ科 GYRINIDAE》

1. コオナガミズスマシ *Oretochilus punctipennis* SHARP ※
 【比企郡嵐山町】都幾川河原 1ex. 1992.7.5. 小堀文彦
2. ミズスマシ *Gyrinus japonicus* SHARP
 【秩父郡皆野町】みのやま公園 5exs. 1992.6.3. 小堀文彦

1995年 秩父地方で採集したカミキリムシ 91種

石藏 拓

筆者が1994年に引き続き、1995年同地方で採集したカミキリムシの記録について報告致します。

1994年採集72種（既発表：寄せ蛾記 (75) - 1850-1852）

1995年採集91種（2年間で秩父産カミキリムシ合計106種）

1995年に新たに採集したのは34種であり、主なものはフチグロヤツボシカミキリ、コバネカミキリ、キモンハナカミキリ、ヌバタマハナカミキリ、カンボウトラカミキリ、クビアカトラカミキリ、センノカミキリ、ネジロカミキリ。

1994年採集種で、1995年未採集は11種で、主なものはビヤクシンカミキリ、アオカミキリ、ヨコヤマトラカミキリ、クリロロチビケブカカミキリ。

毎年、西山明（会員No.333）氏には同定していただき、この紙上をお借りしてお礼申し上げます。

略記号説明 AN:西山氏同定

カミキリムシ科 CERAMBYCIDAE

ノコギリカミキリ亜科 Prioninae

- 1 ウスバカミキリ *Megopis sinica* (White)
95/08/26 大滝村中津川林道 1ex. (灯火)
- 2 ノコギリカミキリ *Prionus insularis* Motschulsky
95/08/04 大滝村中津川林道 1ex. (灯火)
- 3 コバネカミキリ *Psephactus remiger* Harold
95/07/16 大滝村中津川林道 1ex. 95/08/12 大滝村滝の沢 1ex. (灯火)
95/08/26 大滝村中津川林道 1ex.

ホソカミキリ亜科 Disteniinae

- 4 ホソカミキリ *Distenia gracilis* (Blessig)
95/07/09 大滝村中津川林道 1ex. (灯火) 95/07/15 大滝村滝の沢 1ex. (灯火)

クロカミキリ亜科 Spondylinae

- 5 クロカミキリ *Spondylis buprestoides* (Linne)
95/07/09 大滝村中津川林道 1ex.

マルクビカミキリ亜科 Aseminae

- 6 オオマルクビヒラタカミキリ *Asemum striatum* (Linne)
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.
- 7 サビカミキリ *Arhopalus corianus* (Linnaeus)
95/08/04 大滝村中津川林道 1ex. (灯火)

ハナカミキリ亜科 Spondylinae

- 8 モモグロハナカミキリ *Toxotinus reini* (Heyden)
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.
- 9 カラカネハナカミキリ *Gaurotes doris* Bates
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.

- 10 キバネニセハムシハナカミキリ *Lemula deciplens* Bates
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.
- 11 セスジヒメハナカミキリ *Pidonia amentata* (Bates)
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.
- 12 オオヒメハナカミキリ *Pidonia grallatrix* (Bates)
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.
- 13 ナガバヒメハナカミキリ *Pidonia signifera* (Bates)
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.
- 14 ヒゲジロハナカミキリ *Japanostrangalia dentatipennis* Pic
95/07/22 大滝村中津川林道 1ex. (リョウブの花)
- 15 アカハナカミキリ *Corymbia succedanea* (Lewis)
95/08/04 大滝村中津川林道 1ex.
- 16 クロハナカミキリ *Leptura aethiops* dimorpha Bates
95/06/17 大滝村中津川林道 1ex
- 17 ヌバタマハナカミキリ *Judolia bangi* (Pic)
95/07/09 大滝村中津川林道 1ex.
- 18 ムネアカクロハナカミキリ *Leptura dimorpha* Poda
95/06/11 大滝村中津川林道 1ex.
- 19 ミヤマクロハナカミキリ *Anoploderomorpha excavata* (Bates)
95/06/17 大滝村中津川林道 1ex.
- 20 ヤツボシハナカミキリ *Leptura arcuata* f.mimica Bates
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.
- 21 ヨツスジハナカミキリ *Leptura ochraceofasciata* (Motchulsky)
95/07/09 大滝村中津川林道 1ex.
- 22 オオヨツスジハナカミキリ *Leptura regalis* (Bates)
95/07/30 大滝村中津川林道 1ex. (リョウブの花)
- 23 ハネビロハナカミキリ *Leptura latipennis* (Matsushita)
95/06/03 大滝村中津川林道 1ex.
- 24 キモンハナカミキリ *Leptura doudecimguttata* Febricius
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.
- 25 フタスジハナカミキリ *Leptura vicaria* Bates
95/07/22 大滝村中津川林道 1ex.
- 26 コウヤホソハナカミキリ *Strangalia koyaensis* Matsushita
95/07/22 大滝村中津川林道 1ex. (リョウブの花)
- 27 ニンフホソハナカミキリ *Parastrangalia nymphula* (Bates)
95/07/22 大滝村中津川林道 1ex. (リョウブの花)

カミキリ亜科 Cerambycinae

- 28 トラフホソバネカミキリ *Thranius variegatus* Bates
95/07/30 大滝村中津川林道 1ex.
- 29 ミドリカミキリ *Chloridolum viride* (Thomson)
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.
- 30 ルリボシカミキリ *Rosalia batesi* Harold
95/07/16 荒川村上田野 1ex. 95/10/15 大滝村中津川林道 1ex.
- 31 ミヤマカミキリ *Massicus raddei* (Blessig)
95/08/05 両神村大胡桃 1ex. (灯火)
- 32 ヒメスギカミキリ *Callidiellum rufipenne* (Motschulsky)
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.
- 33 アカネカミキリ *Phymatodes maaki* (Kraatz)
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.

- 34 チャイロホソヒラタカミキリ *Phymatodes testaceus* (Linne)
95/05/27 荒川村上田野 1ex.

(トラカミキリ族) *Clytini*

- 35 トラフカミキリ *Xylotrechus chinensis* (Chevrolat)
95/08/05 両神村大胡桃 1ex.
36 ウスイロトラカミキリ *Xylotrechus cuneipennis* (Kraatz)
95/06/25 大滝村中津川林道 1ex.
37 キイロトラカミキリ *Demonax notabilis* Pascoe
95/07/02 大滝村中津川林道 1ex.
38 トゲヒゲトラカミキリ *Demonax transilis* (Bates)
95/07/02 大滝村中津川林道 1ex.
39 エグリトラカミキリ *Chlorophorus japonicus* (Chevrolat)
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.
40 ホソトラカミキリ *Rhaphuma xenisca* Bates
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.
41 ヒメクロトラカミキリ *Rhaphuma diminuta* (Bates)
95/07/09 大滝村中津川林道 1ex.
42 シロトラカミキリ *Paracyltus excultus* Bates
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.
43 カンボウトラカミキリ *Hayashiclytus acutivittis* Kraatz
95/06/25 大滝村中津川林道 1ex.
44 キスジトラカミキリ *Cyrtoclytus caproides* (Bates)
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.
45 キンケトラカミキリ *Clytus auripilis* (Bates)
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.
46 クビアカトラカミキリ *Xylotrechus rufilius* Bates
95/07/15 大滝村滝の沢 1ex. (灯火)
47 シラケトラカミキリ *Clytus melaenus* (Bates)
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.
48 トガリバアカネトラカミキリ *Anaglyptus nipponensis* Bates
95/06/17 大滝村中津川林道 1ex.

(ベニカミキリ族) *Stenaspini*

- 49 ベニカミキリ *Purpuricennus temminckii* Guerin Meneville
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.
50 ヘリグロベニカミキリ *Purpuricennus spectabilis* Motchulsky
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.

フトカミキリ亜科 *Lamiinae*

- 51 キボシカミキリ *Psacothea hiralis* (Pascoe)
95/09/23 大滝村中津峠 1ex.
52 ヒメヒゲナガカミキリ *Monochamus subfasciatus* (Bates)
95/08/13 大滝村中津川林道 1ex.
53 ビロウドカミキリ *Acalolepta fradatrix* Bates
95/07/09 大滝村中津川林道 1ex.
54 ヒゲナガカミキリ *Monochamus grandis* (Waterhouse)
95/08/26 大滝村中津川林道 1ex. (灯火)
55 センノカミキリ *Acalolepta luxuriosa* Bates
95/07/22 大滝村滝の沢 1ex. (灯火)
56 ゴマダラカミキリ *Anoplophora malasiaca* (Thomson)
95/08/05 両神村大胡桃 1ex.

- 57 ヤハズカミキリ *Uraecha bimaculata* (Thomson)
95/09/23 大滝村中津川林道 1ex.
- 58 チャボヒゲナガカミキリ *Xenicotela pardalina*
95/06/11 大滝村中津川林道 1ex.
- 59 ゴマフカミキリ *Mesosa myops* Dalman
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex. 95/05/27 荒川村上野田 1ex.
- 60 カタシロゴマフカミキリ *Mesosa hirsuta* Bates
95/08/13 大滝村中津川林道 1ex. (灯火)
- 61 タテスジゴマフカミキリ *Mesosa senilis* Bates
95/07/16 大滝村中津川林道 1ex.
- 62 ナガゴマフカミキリ *Mesosa longipennis* Bates
95/08/13 大滝村中津川林道 1ex. (灯火)
- 63 ヒゲナガゴマフカミキリ *Palimna liturata* Bates
95/08/04 大滝村中津川林道 1ex.
- 64 アトジロサビカミキリ *Pterolophia zonata* (Bates)
95/06/25 大滝村中津川林道 1ex.
- 65 アトモンサビカミキリ *Pterolophia granulata* (Motschuluky)
95/07/02 大滝村中津川林道 1ex.
- 66 ナカジロサビカミキリ *Pterolophia jugosa* Bates
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.
- 67 ヒメナガサビカミキリ *Pterolophia leiopodina* (Bates)
95/06/17 大滝村中津川林道 1ex.
- 68 トガリシロオビサビカミキリ *Pterolophia caudata* (Bates)
95/08/12 大滝村中津川林道 1ex. (灯火)
- 69 クワサビカミキリ *Mesosella simiola* Bates
95/06/25 大滝村中津川林道 1ex.
- 70 シロオビチビカミキリ *Sybrodiboma subfasciata* (Bates)
95/05/20 大滝村中津川林道 1ex.
- 71 ヒトオビアラゲカミキリ *Rhopaloscelis unifasciatus* (Blessig)
95/06/17 大滝村中津川林道 1ex.
- 72 フタモンアラゲカミキリ *Rhopaloscelis maculatus* (Bates)
95/07/02 大滝村中津川林道 1ex.
- 73 ドイカミキリ *Doius divaricata* (Bates)
95/08/04 大滝村中津川林道 1ex. A.N
- 74 ネジロカミキリ *Pogonocherus seminiveus* (Bates)
95/06/17 大滝村中津川林道 1ex.
- 75 ゴマダラモモブトカミキリ *Leiopus stillatus* (Bates)
95/05/27 大滝村中津川林道 1ex.
- 76 トゲバカミキリ *Rondibilis saperdina* (Bates)
95/08/13 大滝村中津川林道 1ex. (灯火)
- 77 シラオビゴマフケシカミキリ *Exocentrus guttulatus* (Bates)
95/07/22 大滝村中津川林道 1ex. A.N
- 78 ガロアケシカミキリ *Exocentrus galloisi* (Matsushita)
95/06/25 大滝村中津峠 1ex. A.N
- 79 クモガタケシカミキリ *Exocentrus fasciolatus*
95/07/15 大滝村滝の沢 1ex. (灯火) A.N
- (トホシカミキリ族) Saperdini
- 80 ハンノアオカミキリ *Eutetrapha chrysochloris* (Bates)
95/08/13 大滝村中津川林道 1ex.
- 81 シナカミキリ *Eutetrapha sedecimpunctata* Motschulsky
95/06/03 大滝村中津川林道 1ex.

- 82 ヤツメカミキリ *Eutetrapha ocelota* (Bates)
95/06/17 大滝村中津川林道 1ex.
- 83 キモンカミキリ *Menesia sulphurata* (Gebler)
95/07/09 大滝村中津川林道 1ex.
- 84 オニグルミノキモンカミキリ *Menesia flavotecta* Heyden
95/07/09 大滝村中津川林道 1ex.
- 85 シラホシカミキリ *Glenea relicta* Pascoe
95/06/17 大滝村中津川林道 1ex.
- 86 フチグロヤツボシカミキリ *Pareutetrapha eximia* (Bates)
95/08/13 大滝村中津川林道 1ex.
- 87 リンゴカミキリ *Oberea japonica* Thunberg
95/07/09 大滝村中津川林道 1ex.
- 88 チチブニセリンゴカミキリ *Eumecocera niponensis* Pic
95/06/11 大滝村中津川林道 1ex.
- 89 セミスジニセリンゴカミキリ *Eumecocera trivittata* (Breuning)
95/07/02 大滝村中津川林道 1ex.
- 90 ヨツキボシカミキリ *Epiglenea comes* Bates
95/06/17 大滝村中津川林道 1ex.
- 91 キクスイカミキリ *Phytoecia rufiventris* Gautier
95/06/11 大滝村中津川林道 1ex.

(いしくら ひらき 〒114 東京都北区滝の川 6-36-5)

飯能市5月の蝶

原 聖樹

1992年5月27日および1995年5月14日、飯能市宮沢において次の蝶を撮影または観察した。*印は採集品、他はすべてネット確認を含む確実な目撃例である。

1. ダイミョウセセリ：1♂○1♂●, V-27.
2. ヒメキマダラセセリ：1♂○*, V-27.
3. キチョウ：1♂1♀●, V-27; 1♀●, V-14.
4. モンキチョウ：1♂, V-27.
5. ミドリシジミ：終齶幼虫 2exs. * (ハンノキ巣中), V-14.
6. ベニシジミ：2♀○*, V-14.
7. ゴイシシジミ：1♂○, V-27.
8. ツバメシジミ：1♂●, V-27.
9. コミスジ：1 ex. V-27.
10. イチモンジチョウ：1♂○, V-27.
11. ヒメウラナミジヤノメ：1♂○ (ハルジオン訪花) 2♀○ (イボタ訪花) 5♂○1♂○, V-27;
2♂○3exs. V-14.
12. コジヤノメ：4♀○2♀○, V-27; 3♂1♀○*, V-14.
13. サトキマダラヒカゲ：1♂, V-27.

(はら せいき 〒229 相模原市光が丘1-10-16)

埼玉県内でのトンボ類の記録

喜多 英人

筆者は、各地でトンボ類の観察と生態写真の撮影をおこなっているが、そのうち埼玉県内での未発表の観察例について、出現初期と晚期の記録を中心に報告する。以下の記録の大部分は生態写真の撮影をおこなつたもので、採集はほとんどおこなっておらず、記録に付した(採)は採集記録を、また(未)はそれぞれ未熟個体、成熟個体を示しており、同一地域の記録は“;”でつないでいる。なお、以下の記録の一部は、加納一信氏・小林文雄氏・川島逸郎氏らと同行して得たものも含まれていることを記しておきたい。

モートンイトトンボ	秩父市大野原：多. 91. 7. 14
キイトンボ	寄居町折原：1♂. 92. 8. 15. 皆野町国神：多(未). 94. 7. 10; 交尾1. 連結産卵多. 94. 7. 17. 長瀬町長瀬：3♂. 95. 8. 18
アジアイトンボ	皆野町国神：2♂1♀(未). 95. 4. 8; 交尾1. 羽化多. 95. 4. 29. 東松山市都幾川：1♀羽化. 92. 7. 4. 所沢市堀之内：羽化多. 95. 4. 23
クロイトンボ	皆野町国神：羽化多. 95. 4. 29. 長瀬町長瀬：1♂. 93. 10. 24
オオイトンボ	小川町楓川：羽化多. 交尾1. 95. 6. 24; 連結潜水産卵1. 1♂羽化. 連結産卵多. 95. 9. 3. 皆野町国神：羽化多. 連結産卵1. 95. 5. 7. 所沢市堀之内：1♂95. 6. 11. 長瀬町長瀬：1♂. 94. 11. 12
モノサシトンボ	皆野町国神：1♂羽化. 95. 5. 7. 長瀬町長瀬：交尾1. 95. 8. 18. 飯能市雨乞の池：連結産卵1. 95. 8. 16. 東松山市都幾川：連結潜水産卵1. 92. 7. 4
オツネントンボ	皆野町国神：多. 連結産卵1. 95. 4. 8. 所沢市堀之内：3exs. 95. 4. 23
ホソミオツネントンボ	寄居町折原：交尾. 連結産卵. 93. 6. 27; 1♂1♀羽化. 95. 8. 18; 約20exs. (未). 91. 11. 4. 皆野町国神：2♂1♀. 95. 5. 7
オオアオイトンボ	東松山市都幾川：1♀羽化. 92. 7. 4. 横瀬町赤穂木池：1♂羽化. 91. 7. 14. 長瀬町長瀬：連結産卵1. 94. 11. 12; 交尾1. 94. 11. 13
アオハダトンボ	東松山市都幾川：交尾1. 産卵1. 92. 7. 4; 5♀. 93. 6. 6. 小川町楓川：多(未). 産卵2). 95. 6. 24. 嵐山町都幾川：3♀産(うち2♀潛水). 93. 6. 20
ハグロトンボ	嵐山町都幾川：1♂羽化. 93. 6. 20. 東松山市都幾川：交尾1. 産卵2. 95. 9. 3
ミヤマカワトンボ	寄居町折原：多(未). 93. 5. 22; 1♂. 93. 9. 26. 小川町館川：1♀. 93. 6. 13
ヒガシカワトンボ	玉川村日景：1♀羽化. 交尾1. 95. 5. 13. 玉川村五明：多. 95. 5. 13. 寄居町折原：約10exs. 93. 8. 1. 皆野町国神：1♂2♀(未). 95. 4. 29
ムカシヤンマ	入間市宮寺：3♂. 91. 6. 16; 若齢1. 中齢幼虫1ex. 95. 4. 23
ミヤマサナエ	寄居町折原：1♀採. 85. 6. 16. 東松山市都幾川：終齢幼虫5exs. 93. 6. 9; 約10exs. 羽化. 93. 6. 6; 2♀羽化. 92. 7. 11; 1♂. 93. 8. 29. 小川町楓川：2♀羽化. 93. 6. 27. 嵐山町都幾川：2♂羽化. 93. 6. 27. 小川町兜川：羽化殻2exs. 84. 7. 1
ナゴヤサナエ	行田市水城公園：1♂. 84. 7. 15
ヤマサナエ	小川町兜川：1♂1♀. 85. 5. 19. 小川町竹沢：1♀産卵. 85. 6. 16. 入間市宮寺：多. 91. 6. 16. 寄居町折原：1♀. 92. 7. 20
ホンサナエ	小川町兜川：1♀採. 85. 5. 19. 東松山市都幾川：羽化殻1ex. 採. 95. 5. 7; 羽化殻1ex. 採. 95. 5. 13
コサナエ	皆野町国神：羽化100以上. 95. 4. 29; 1♀羽化. 95. 5. 2; 3♂1♀産卵. 95. 7. 9.
ダビドサナエ	飯能市阿須：1♀. 95. 5. 13 玉川村日景：♂多. 2♀産卵. 95. 5. 13. 寄居町折原：羽化殻1ex. 95. 4. 29. 小川町兜川：1♀産卵. 85. 5. 19. 東松山市都幾川：1♂羽化. 95. 5. 7. 嵐山町都幾川：2♂. 93. 6. 12
ヒメサナエ	寄居町折原：交尾1. 85. 8. 4. 嵐山町都幾川：2♀羽化. 93. 6. 12. 嵐山町楓川：羽化殻1ex. 93. 6. 12. 東松山市都幾川：羽化殻4exs. 93. 6. 12
オジロサナエ	東松山市都幾川：1♀羽化. 93. 6. 6. 嵐山町都幾川：5exs. 羽化. 93. 6. 13.

アオサナウ

オナガサナウ

コオニヤンマ

ウチワヤンマ

オニヤンマ

サラサヤンマ

ミルンヤンマ

コシボソヤンマ

カトリヤンマ

ヤブヤンマ

ルリボシヤンマ

オオルリボシヤンマ

マルタンヤンマ

クロスジギンヤンマ

ギンヤンマ

オオエゾトンボ

タカネトンボ

コヤマトンボ

オオヤマトンボ

ハラビロトンボ

ヨツボシトンボ

コフキトンボ

ヒメアカネ

マユタテアカネ

リスアカネ

コノシメトンボ

ネキトンボ

キトンボ

チョウトンボ

嵐山町楓川：1♂羽化. 93. 6. 20. 寄居町折原：3exs.. 92. 6. 14；3♀羽化. 交尾2. 産卵多. 93. 8. 1；5♂1♀産卵. 95. 9. 3；1♂. 93. 9. 26
 小川町楓川：交尾1. 3♀産卵. 95. 6. 24. 東松山市都幾川：2♂羽化. 羽化殻15exs.. 95. 5. 7. 嵐山町都幾川：6♂1♀. 93. 6. 12. 寄居町折原：♂多. 産卵1. 85. 6. 16
 寄居町折原：3♀産卵. 91. 8. 15. 嵐山町楓川：1♀羽化. 93. 6. 12；羽化殻14exs.. 93. 6. 20；3♀産卵. 93. 8. 29；1♀. 95. 9. 3. 小川町楓川：2♂1♀産卵. 95. 9. 2. 小川町小瀬田沼：1♂. 95. 9. 3. 東松山市都幾川：産卵多. 94. 7. 30
 東松山市都幾川：5exs. 羽化. 幼虫1ex.. 93. 6. 6. 越生町越辺川：1♂. 92. 7. 4. 都幾川村都幾川：1♂. 92. 8. 15. 小川町楓川：1♂. 95. 9. 3. 小川町増尾：1♀. 95. 9. 3
 行田市水城公園：2♂，羽化殻21exs.. 92. 7. 5. 三郷市みさと公園：羽化殻多. 95. 7. 2
 皆野町国神：1♂(未). 羽化殻多.. 95. 7. 9. 長瀬町長瀬：1♂. 93. 10. 24
 入間市宮寺：終令幼虫1♂1♀. 94. 4. 2；2♀羽化. 95. 4. 30；2♂羽化. 95. 5. 6；1♂2♀産卵. 91. 6. 16. 小川町池田：1♀採. 84. 7. 1；5♂3♀産卵. 交尾1. 85. 5. 19. 所沢市堀之内：1♂. 90. 5. 26
 横瀬町芦ヶ久保：2♂採. 86. 9. 23. 小川町小瀬田川：2♀産卵. 95. 9. 3. 寄居町折原：1♂羽化. 94. 7. 17；1♂1♀産卵. 95. 8. 18；2♂. 94. 11. 6
 小川町楓川：1♂1♀. 95. 9. 2. 寄居町折原：羽化殻4exs.. 92. 7. 26；1♀. 93. 9. 18. 飯能市成木川：1♂. 95. 8. 16
 寄居町折原：2♂1♀. 94. 7. 31；3♂5♀産卵. 91. 11. 4. 長瀬町長瀬：2♀産卵. 94. 11. 12；1♂. 94. 11. 13
 入間市宮寺：1♀産卵. 91. 6. 16. 飯能市雨乞の池：3♂1♀産卵. 92. 8. 16
 寄居町折原：幼虫2exs. (若・中). 93. 7. 25；1♂. 93. 10. 24. 皆野町：3♂. 86. 9. 23. 長瀬町長瀬：2exs.. 93. 10. 11
 皆野町国神：羽化殻多 (2♀採). 95. 7. 9
 皆野町国神：羽化殻2exs.. 94. 7. 10；羽化殻1♂採. 95. 7. 9. 長瀬町長瀬：1♀産卵. 95. 8. 18
 皆野町国神：羽化殻4exs.. 95. 4. 29；2♂2♀産卵. 95. 5. 7. 飯能市阿須：1♂. 95. 5. 13. 吉田町上郷：1♂. 95. 9. 15. 長瀬町長瀬：1♂. 93. 10. 11
 皆野町国神：1ex. (未). 95. 5. 7. 寄居町立原：2♂. 羽化殻26exs.. 95. 8. 18. 飯能市入間川：連結産卵3. 90. 8. 26. 嵐山町千手堂：♂多. 95. 9. 3. 長瀬町長瀬：1♂. 94. 10. 24
 入間市宮寺：亜終令幼虫1ex.. 95. 3. 12；1♂羽化. 95. 6. 11. 所沢市堀之内：2♂交尾1. 92. 8. 22
 入間市宮寺：亜終令幼虫1ex.. 94. 4. 2. 横瀬町赤穂木池：1♂. 91. 7. 14. 飯能市雨乞の池：5♂. 92. 8. 16. 長瀬町長瀬：1♂. 93. 10. 11
 嵐山町都幾川：♂多. 3♀産卵. 93. 6. 20. 嵐山町楓川：1♂1♀羽化. 93. 6. 27. 小川町楓川：1♂. 95. 8. 18. 小川町館川：少. 93. 6. 27. 小川町兜川：多. 85. 5. 19
 行田市水城公園：3♂1♀産卵. 92. 7. 5
 皆野町国神：交尾2. 産卵2. 94. 7. 17. 飯能市阿須：多 (未・成). 95. 5. 13
 皆野町国神：羽化殻1ex. 採. 95. 5. 2；3♂1♀産卵. 95. 5. 7
 東松山市都幾川：1♂1♀ (オビ型). 93. 8. 29
 皆野町：2♂採. 86. 9. 23. 皆野町国神：2♂. 95. 9. 15. 小川町増尾：1♀ (未). 95. 9. 3. 寄居町立原：1♂. 95. 9. 15. 所沢市堀之内：2exs. (未). 95. 8. 16
 寄居町折原：2exs. 羽化. 93. 9. 18；1♀ (赤化型). 91. 10. 13；交尾, 産卵. 91. 11. 4
 長瀬町長瀬：1♂. 93. 10. 11. 飯能市阿須：3♂ (成). 95. 8. 16
 長瀬町長瀬：1♀. 94. 11. 13
 皆野町国神：1♂. 94. 7. 31；3♂. 94. 10. 2. 長瀬町長瀬：交尾1. 93. 10. 11.
 小川町小瀬田沼：1♂. 95. 9. 3
 長瀬町長瀬：羽化殻1ex. 採. 95. 8. 18；交尾1. 連結産卵2. 94. 11. 13
 大宮市：少. 92. 7. 5

・・・・・

埼玉県内の昆虫類の採集記録

山崎 正則

・・・・・

- 古い記録ではありますが、筆者が記録している埼玉県産の昆虫類を記しておきます。
- 記録が重複している種は、一部を除いて代表的な記録のみを記す。
 - 雌雄に関しては、筆者は知識不足の為、頭数のみ記す。
 - 既に発表している記録は除く。

カラスアゲハ	1975.5.18	飯能市正丸峠 1♂
オナガアゲハ	1975.5.18	飯能市正丸峠 2♂
クロアゲハ	1981.7.7	大宮市島町 1♂
ウスバシロチョウ	1983.5.15	大滝村大血川 2♂
ミヤマカラスアゲハ	1986.6.1	飯能市正丸峠 1♂
ミドリシジミ	1981.7.25	大宮市島町 2♂
メスアカミドリシジミ	1983.5.3	秩父市浦山口 幼虫確認
フジミドリシジミ	1984.1.3	秩父市浦山口 越冬卵確認
ハヤシミドリシジミ	1983.12.1	都幾川村堂平山 越冬卵確認
ウラクロシジミ	1985.5.3	秩父市浦山口 幼虫確認
ウラクロシジミ	1982.11.28	小鹿野町納宮 越冬卵確認
ウラキンシジミ	1987.3.7	吉田町 越冬卵確認
オナガシジミ	1985.11.23	大滝村三峰山 越冬卵確認
アカシジミ	1983.6.11	大宮市島町 2
スギタニルリシジミ	1983.4.29	大滝村大血川 5♂
ミズイロオナガシジミ	1984.6.16	大宮市島町 2
コツバメ	1984.5.3	大滝村大血川 2♂
トラフシジミ	1978.5.1	大宮市島町 1♂
クロツバメシジミ	1986.10.26	吉田町 1♂
ウラギンシジミ	1980.9.28	大宮市島町 1♂
ツマグロキチョウ	1975.11.16	大宮市島町 1
クモガタヒヨウモン	1973.6.10	飯能市正丸峠 1♂
ミドリヒヨウモン	1980.6.7	大宮市島町 1♂
イチモンジチョウ	1975.8.3	大宮市島町 1♂
アカタテハ	1978.11.3	大宮市島町 1
ヒメアカタテハ	1978.11.5	大宮市島町 1
ルリタテハ	1976.8.14	大宮市島町 1
ゴマダラチョウ	1989.7.7	大宮市島町 1♂
ヒオドシチョウ	1979.6.17	大宮市島町 2
コミスジ	1975.8.10	大宮市島町 1♂
スミナガシ	1973.5.28	飯能市正丸峠 1♀
コムラサキ	1978.7.16	大滝村大血川 2♂
サトキマダラヒカゲ	1976.8.25	大宮市島町 1
ツマジロウラジャノメ	1982.5.23	大滝村大血川 3♂
テングチョウ	1983.6.11	大宮市島町 2
アオバセセリ	1982.5.23	大滝村大血川 1♂
以上蝶類		

シロシタバ	1983.8.27	大滝村三峰山	5
エゾシロシタバ	1985.8.11	大滝村三国峠	2
オニベニシタバ	1985.8.11	大滝村三国峠	5
コシロシタバ	1985.7.21	北本市石戸宿	3
キシタバ	1983.8.27	大滝村三峰山	2
ジョナスキシタバ	1983.8.27	大滝村三峰山	3
ゴマシオキシタバ	1983.8.27	大滝村三峰山	1
マメキシタバ	1985.7.21	北本市石戸宿	1
フシキキシタバ	1985.6.29	北本市石戸宿	1
タカオキリガ	1989.4.22	大滝村柄本	1
以上蛾類			

ウバタマムシ	1986.4.15	大宮市島町	1
マスダクロホシタマムシ	1990.7.15	大滝村大血川	3
クロナガタマムシ	1980.6.22	大宮市島町	2
ヒシモンナガタマムシ	1980.6.1	大宮市島町	2
コカブト	1989.5.14	大宮市島町	1
コカブト	1990.8.28	大宮市島町	1
センチコガネ	1978.11.4	大宮市島町	1♂
コクワガタ	1985.6.22	北本市石戸宿	1♂
ノコギリクワガタ	1985.6.29	北本市石戸宿	1♂
スジクワガタ	1988.4.23	大滝村柄本	幼虫確認
ルリクワガタ	1988.4.23	大滝村柄本	1♂.1♀.幼虫確認
ヒメマイマイカブリ	1989.7.30	大宮市島町	1
クロナガオサムシ	1985.8.12	大滝村三国峠	1
コクロナガオサムシ	1985.8.12	大滝村三国峠	1
エゾカタビロオサムシ	1993.5.11	上尾市中妻	1
ヒゲナガゴマフカミキリ	1990.7.15	大滝村大血川	1
ナガゴマフカミキリ	1988.7.9	大宮市島町	1
アカアシオオアオカミキリ	1988.8.13	大宮市	1
カタジロゴマフカミキリ	1985.8.17	北本市石戸宿	1
アトジロサビカミキリ	1988.7.9	大宮市島町	1
マルモンサビカミキリ	1985.5.18	北本市石戸宿	1
ヨツボシキカミキリ	1985.5.18	北本市石戸宿	1
シロトラフカミキリ	1982.5.23	大滝村大血川	1
ホソハンミョウ	1986.8.11	大宮市島町	1
以上甲虫類			

上記以外にも普通種を中心に多種目撲はしているが、記録として残していない為、全て除外した。又、ツマグロヒヨウモン1♀を台風後に目撲しているが、確信がない為、これも除外する。

(やまざき まさのり 〒330 大宮市島町918-2)

埼玉県下におけるトンボ類の採集記録（3）

西田 彰

以下は1994年中の採集（目撃）記録である。ただし、7月以降はあまり活動できず、詳しい記録もとらなかつたため、標本等により確実なものに限定した。なお、記録日の“1994”は省略してある。

[イトトンボ科]

キイトトンボ

岩槻市赤坂沼：(1♂) 7.4 ; 1♂ 8.1

皆野町国神：(1♀) 8.4

ペニイトトンボ

岩槻市赤坂沼：(2♂ 1♀) 7.4

93年夏は多産したので、この春に何度か岸辺をすくってみたが、幼虫は得られなかった。今年は個体数が少なかったのではないか。

アジアイトトンボ

岩槻市赤坂沼：(♂♀多数) 4.24 ; 4.29 ; 5.6 羽生市水郷公園：(♂♀数頭) 5.5

越谷市大吉調節池：(1♂ 1♀) 6.7 ; 1♂ 1♀ 8.17

赤坂沼では、4月29日には交尾・産卵が見られた。

アオモンイトトンボ

越谷市大吉調節池：1♂ 1♀ 6.6 ; (1♂ 1♀) 6.7

クロイトトンボ

岩槻市赤坂沼：2♂ 1♀ 4.29 ; (♂♀多数) 6.12 横瀬町赤穂木池：(♂♀多数) 5.10

皆野町国神：(♂♀多数) 5.20

越谷市大吉調節池：2♂ 2♀ 6.5 ; 1♂ 1♀ 6.6 ; (♂♀数頭) 6.7 ; 6.18

オオイトトンボ

越谷市大吉調節池：1♂ 7.16

セスジイトトンボ

越谷市大吉調節池：3♂ 3♀ 6.5 ; 1♂ 1♀ 6.6 ; (♂♀数頭) 6.7 ; 6.18

ムスジイトトンボ

越谷市大吉調節池：1♂ 6.25 筆者の知る限り、県内では4例目。

[モノサシトンボ科]

モノサシトンボ

皆野町国神：1♂ 1♀ 5.20 ; 1♂ 2♀ 8.4

鳩山町熊井：(1♂) 6.27

[アオイトトンボ科]

ホソミオツネントンボ

横瀬町赤穂木池：5♂ 1♀ 5.31

アオイトトンボ

岩槻市村国：1♀ (1♂ 1♀) 6.12

[カワトンボ科]

アオハダトンボ

東松山市上唐子：(2♂ 2♀) 5.20 ; 1♂ 1♀ 5.23 ; (♂♀数頭) 6.27 ; 7.2

ハグロトンボ

岩槻市村国：1♀ (1♂ 1♀) 6.12 東松山市上唐子：(♂♀多数) 7.2

ミヤマカワトンボ

東松山市上唐子： 1♀ 5.20

飯能市虎秀川： (♂♀多数) 6.3

ヒガシカワトンボ

横瀬町赤穂木池： (♂♀数頭, 含橙色型) 5.10

日高市台 (滝不動) : 4♂ (橙色型) 1♀ 5.26 ; (♂♀数頭, 含橙色型) 5.31

飯能市南川： 1♀ 6.3

飯能市南川： (1ex.) 5.26

毛呂山町大谷木： (♂♀数頭) 6.27

[ムカシトンボ科]

ムカシトンボ

飯能市南川： 3♂ 2♀ 5.10 ; (2exs.) 5.31

[ムカシヤンマ科]

ムカシヤンマ

日高市台 (滝不動) : 1♂ 1♀ 5.26 ; 2♂ 5.31

[サナエトンボ科]

ミヤマサナエ

東松山市上唐子： 2♀ 6.27 ; 2♂ 2♀ 7.2

ナゴヤサナエ

北本市石戸宿： 1♂ 8.1 ; 2♂ 8.8 ; 1♂ 8.8 (西田理) ; 1♀ (西田好子) 8.8

ヤマサナエ

東松山市上唐子： 1♂ 5.20 ; 1♂ 5.23

毛呂山町大谷木： (1♂) 6.27

日高市台 (滝不動) : (2♂) 5.26

キイロサナエ

東松山市上唐子： 2♂ 5.20 ; 4♂ 3♀ 5.23 ; 1♂ 6.27 ; 1♂ 7.2

ホンサナエ

東松山市上唐子： 2♂ 5.20 ; 2♂ 1♀ 5.23

コサナエ

横瀬町赤穂木池： 3♂ 2♀ 5.10

皆野町国神： 3♂ 2♀ 5.20

東松山市上唐子： 2♂ 1♀ 5.20

鳩山町熊井： 1♂ 6.27

ダビドサナエ

横瀬町赤穂木池： 1♀ 5.10

飯能市虎秀川： 1♀ 6.3

飯能市南川： 1♂ 5.10 ; 3♂ 2♀ 6.3

クロサナエ

飯能市南川： 1♂ 5.10 ; 1♀ 6.3

アオサナエ

東松山市上唐子： 2♂ 5.20 ; 3♂ 5.23

オナガサナエ

東松山市上唐子： 3♂ 6.27 ; (♂数頭) 7.2

コオニヤンマ

東松山市上唐子： 4♂ 6.27 ; 2♀ 7.2

ウチワヤンマ

鳩山町熊井： (1♂) 6.27

毛呂山町大谷木： (1♂) 6.27

越谷市大吉調節池： (1♂) 7.28

[ヤンマ科]

サラサヤンマ

日高市台 (滝不動) : 1♂ 5.31

ミルンヤンマ

寄居町三品： 2♀ 8.30

横瀬町赤穂木池： 1♂ 10.16

アオヤンマ

岩槻市赤坂沼： 1幼虫 3.26 (4.20, 5.3 に脱皮した後, 死亡)

ネアカヨシヤンマ

北本市石戸宿： 1♀ 7.23 ; 1♂ 8.8

カトリヤンマ

寄居町三品： 1♀ 8.4 ; 1♂ 1♀ (1♀) 1♂ 羽化殻 8.30 ; 1♂ (西田理) 8.30

北本市石戸宿： 1♀ 8.24

川島町出丸水郷： (3♂ 1♀) 10.9

ヤブヤンマ

飯能市多峰主山： 2♂ 7.16

北本市石戸宿： 1♂ 8.1

マルタンヤンマ

北本市石戸宿： 1♀ 8.15

クロスジギンヤンマ

横瀬町赤穂木池： 2♂ 1♀ 5.10 ; 3♂ 5.31

北本市石戸宿： (2♂) 1♀ 6.27

ギンヤンマ

越谷市大吉調節池： (1ex.) 6.5

皆野町国神： 1♂ 8.4

北本市石戸宿： 1♂ 8.18

[オニヤンマ科]

オニヤンマ

飯能市多峰主山： (♂数頭) 7.16

皆野町国神： 1♂羽化殻 8.4

北本市石戸宿： (♂数頭) 8.5 ; 8.8

7月5日に、八潮市鶴ヶ曽根でも 1♀が採集されている。

[エゾトンボ科]

コヤマトンボ

東松山市上唐子： 3♂ 1♀ 5.20 ; 1♂ 2♀ 5.23 ; 1♂ 6.27 ; (2♂) 7.2

北本市石戸宿： 2♂ (西田理) 8.8

オオヤマトンボ

越谷市大吉調節池： 1♀ 幼虫 6.5 ; 2♂ 1♀ 羽化殻 6.1 8 北本市石戸宿： 1♂ (1♀) 8.4

7月末には、同所で産卵行動を何度か観察した。いずれも早朝4:50頃から数分間行い、すぐに姿をを消す。その後雄が飛来し、パトロールを開始する。一度だけ、産卵直後の雌と連結した後池から少し離れた木立に飛び去るのを見た。

[トンボ科]

シオカラトンボ

越谷市大吉調節池： (1♂) 6.7 (羽化後に飛び立った。羽化殻採集。) 八潮市南川崎： 1♂ 7.22

シオヤトンボ

皆野町国神： (♂♀ 数頭) 5.20

日高市台（滝不動）； (♂♀ 数頭) 5.26

オオシオカラトンボ

北本市石戸宿： 1♂ 8.1 (羽化直後の未熟個体)

ヨツボシトンボ

皆野町国神： (1ex.) 5.20

ショウジョウトンボ

横瀬町赤穂木池： (2♂) 5.31

皆野町国神： 1♀ 8.4

寄居町三品： 1♂ 8.30

コフキトンボ

越谷市大吉調節池： (1♀) 6.5 ; (♂♀ 数頭) 6.18 ; 1♀ (オビ型) 7.16 ; 7.30

ミヤマアカネ

東松山市上唐子： 1♀ 7.2

アキアカネ

北本市石戸宿： 1♀ 10.4

越谷市北川崎： (2♂) 12.4 (翌日から寒くなり、目撃していない。)

ヒメアカネ

浦和市秋ヶ瀬公園： 1♀ 8.15

マユタテアカネ

東松山市上唐子： 1♀ 8.4

横瀬町赤穂木池： (♂♀多数) 10.15

リスアカネ

岩槻市村国： 1♂ 10.9

ノシメトンボ

岩槻市村国： 1♀ 6.12

草加市八幡： (♂♀多数) 9.25

草加市八幡では、同じ日に3連結も見た。

採集にあたり、案内していただいた碓井徹、松崎雄一、上原市郎の各氏に深く感謝いたします。

参考文献

新井 裕 (1991) 埼玉県におけるムスジイトトンボ の初記録、寄せ蛾記(61):1174

碓井 徹 (1991) 埼玉県では記録の少ないイトトンボ科5種の記録、寄せ蛾記(61):1176-1177

上原市郎 (1994) 埼玉県越谷市と周辺地域で記録したトンボ、寄せ蛾記(70):1581-1590

松崎雄一 (1995) 埼玉県蜻蛉目調査(3) 1994年4月~11月、寄せ蛾記(74):1821-1826

(にしだ あきら 〒340 草加市青柳 5-36-21-203)

==== 訂正3件 ===

1. 寄せ蛾記(69) p.1535

(誤) ミヤマカワトンボ 日高市新堀： 1993.6.4

(正) ミヤマカワトンボ 日高市新堀： 1♂, 1993.6.4

2. 寄せ蛾記(69) p.1536

(誤) ヒメクロサナエ 飯能市南川： 2♀, 1992.5.12 ; 1♂, 1992.5.17 ; 1♀, 1993.5.6

(正) ヒメクロサナエ 飯能市南川： 1♂ 2♀, 1992.5.12 ; 1♀, 1993.5.6

クロサナエ 飯能市南川： 1♂, 1992.5.17

3. 寄せ蛾記(70) p.1590

(誤) ギンヤンマ 北本市石戸宿： 1♀, 1993.8.28 ; 1♂, 1993.9.15

(正) ギンヤンマ 北本市石戸宿： 1♂, 1993.8.28 ; 1♂, 1993.9.15

(にしだ あきら 〒340 草加市青柳 5-36-21-203)

埼玉県におけるアイヌテントウの採集記録と若干の考察

内田 正吉

筆者の手元に埼玉県産のアイヌテントウ *Coccinella ainu* LEWIS の標本が若干あるので、分布資料として報告する。あわせて本種の生息環境などの考察を述べたい。採集者はいずれも筆者（内田）である。

[採集記録]

- 江南町：押切（荒川左岸の河原）, 1ex., 1994.4.2.
- 寄居町：赤浜（荒川河原）, 1ex., 1994.9.23.
- 両神村：薬師堂（小森川河原）, 1ex., 1994.7.30.
- 神泉村：秩父瀬（神流川河原）, 1ex., 1995.6.11.

上記4ヶ所で共通しているのは、すべて河原に生息していたことである。断定はできないが、このことから本種は河原かそれに類した環境にのみ生息している種であると考えられる（少なくとも関東地方においては）。典型的な草原性のテントウムシであろう。しかも、水田などの湿地の草原に見られることの多いジュウサンホシテントウなどに対して、本種は乾燥した草原を好むようである。一方、同属のナナホシテントウは河原にも生息しているが、人家の庭や畠などの人の手により作られた草原的環境にも生息している。アイヌテントウとナナホシテントウの生息環境の適応性の違いが、何によるものなのか調べてみると面白そうである。もしかしたら、アイヌテントウは河原に生息する特定のアブラムシのみを捕食しているのかもしれないし、移動能力が弱いのかもしれない。なお、アイヌテントウは同属のナナホシテントウに似ているが、上翅の斑紋が11ヶあることで区別できる。また手元の標本を見るかぎり、ナナホシテントウよりもやや小型であり、体色の赤味も相対的に濃い。

ところで、アイヌテントウとよく似た傾向を示す昆虫が、コオロギにもいる。エゾエンマコオロギである。エゾエンマコオロギは国内では北海道と本州（紀伊半島以北）に生息地が知られ、国外では中国東北部に分布している。そして本州においては海岸や河原にのみ局地的に分布している。この点はアイヌテントウに似ている。また、アイヌテントウの分布は佐々治(1985)によると、北海道、本州、朝鮮半島、中国、シベリア東部であるという。分布パターンも、エゾエンマコオロギに似ている。ちなみに、北海道のエゾエンマコオロギは畠などにも普通に見られると言われており、筆者も実際に札幌市郊外の耕作地において鳴いているのを1995年9月に聞いている。アイヌテントウの場合、北海道ではどんな環境に生息しているのか興味がもたれる。

参考文献

- 佐々治寛之(1985)テントウムシ科. 原色日本甲虫図鑑(企) :245-270, plate 40-44. (保育社).

(うちだ まさよし 〒369-12 大里郡寄居町桜沢 1505)

・・・・・

ヤマトヒメメダカカッコウムシの埼玉県内陸部からの記録

内田 正吉

・・・・・

1995年7月2日に、寄居町牟礼にある「おぶすまトンボの里公園」にておこなわれた整備作業に参加した。休耕田の湿地に茂っている2~3mの高さのヨシ群落を刈払機で刈り倒す作業をおこなっている際に、見慣れない黄色っぽいカッコウムシの一種を発見した。そのカッコウムシの一種はヨシ群落内で数個体見られたが、1個体のみを採集した。作業終了後に自宅に戻ってから、手元の文献により調べたところ、ヤマトヒメメダカカッコウムシと同定された。さらに小田博氏から本種の原記載の論文(NAKANE, 1981)を送っていただき、ヤマトヒメメダカカッコウムシであることを確認した。

本種は宮武(1985)によると、河口や沼地のアシ原で採れるという。また難倉(1992)によると、埼玉県における既産地は戸田市道満と八潮市大瀬の2ヶ所のみであり、どちらも県南東部からの記録である。

寄居町は埼玉県の北西部に位置している。埼玉県における本種の最も内陸からの記録と思われる(図2)ので、分布資料として報告する。報告にあたり、文献をご提供くださった小田博氏に厚くお礼申し上げます。

[採集データ]

ヤマトヒメメダカカッコウムシ *Neohydalus hozumii* NAKANE (図1)

1 ex., 埼玉県大里郡寄居町牟礼(おぶすまトンボの里公園), 1995.7.2, 内田正吉採集

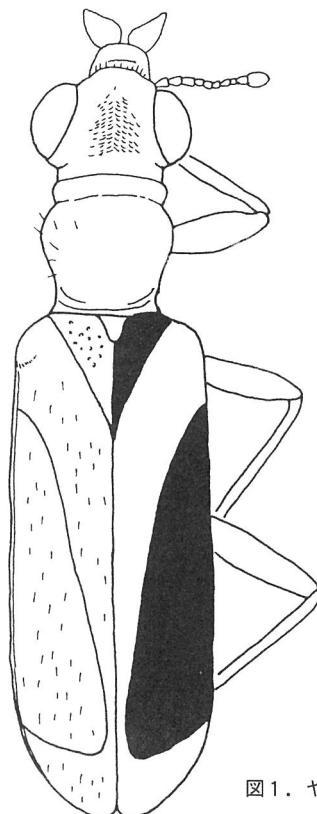


図1. ヤマトヒメメダカカッコウムシ(寄居町牟礼産)

この個体の体長は約 4.6mm。頭部と前胸背板は黒色。複眼には微毛が生じている。上翅は図1のように黒色部がかなり発達している。脚はすべて一様に褐色。標本は現在のところ、筆者が保管している。

採集された場所は現在はヨシ群落になっているとはいえる、以前には水田としてイネが栽培されていたところである。本種がヨシ群落にのみ生息している種であるとするなら、休耕田になってヨシ群落が形成された時点から外部から進入してきたのだろうか。それともイネが栽培されていた時にも畦の草むらなどではそそと生息していたのだろうか。気になるところである。また、現在県北西部の丘陵地付近の谷津田では、ヨシが生い茂っている休耕田が少なくない。各地に点在している休耕田のヨシ群落に、本種は普遍的に分布しているのだろうか。

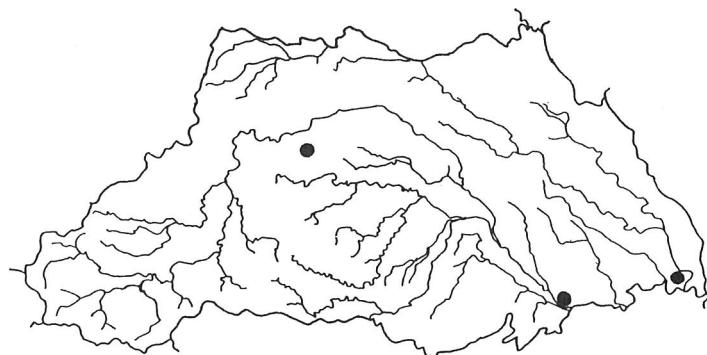


図2. 埼玉県におけるヤマトヒメダカカッコウムシの確認地点

参考文献

- 雑倉正人(1992)八潮市の汽水域に生息する甲虫類. 寄せ蛾記, (65):1388-1389.
 宮武陸夫(1985)カッコウムシ科. 原色日本昆虫図鑑(企) :151-160, plts. 24-25. (保育社)
 NAKANE, T. (1981) New or little-known Coleoptera from Japan and its adjacent regions. XXXIII.
 FRAGMENTA COLEOPTEROLOGICA, Pars 29/32.

(うちだ まさよし 〒369-12 大里郡寄居町桜沢 1505)

埼玉県蜻蛉目調査 (4) 1995年4月～10月

松崎 雄一

筆者が、1992年より県内のトンボ類の生息状況を調べ始めてすでに4年たった。本報告が埼玉県昆虫誌に係る最終のものとなるわけだが、今年は、諸事情により例年より貧弱な内容となってしまった。しかし、少ないながらも新たな知見を追加することが出来たので、それらも含めて記録しておきたいと思う。

以下の記録は、一部(羽化殻)をのぞき、確実な目撃記録である。

目撃記録は、()でくくって表示。◎は、写真撮影したものを含む事を示す。

イトトンボ科

1. キイトトンボ
(♂♀1♀) 1995.7.25 皆野町国神

アジアイトンボ

◎ (♂♀若干) 1995.4.21 皆野町国神
(1♂) 1995.5.25 北本市蓮沼

クロイトトンボ

(1♂) 1995.5.18 東松山市上唐子
(♂♀多数) 1995.5.23 秩父市尾田蔵
(♂♀多数) 1995.5.23 皆野町国神
(♂♀多数) 1995.5.25 北本市蓮沼
◎ (♂♀若干) 1995.6.1 横瀬町赤穂木池
(♂♀若干) 1995.9.12 秩父市柄谷

セスジイトトンボ

◎ (2♂) 1995.8.29 東松山市上唐子

オオイトトンボ

◎ (1♀) 1995.4.21 皆野町国神
(1♂) 1995.5.23 秩父市尾田蔵
(2♂) 1995.5.31 東松山市上唐子
(♂♀若干) 1995.6.1 横瀬町赤穂木池

モノサシトンボ科

6. モノサシトンボ
(2ex) 1995.5.23 皆野町国神
(1♂1♀) 1995.8.29 北本市蓮沼

アオイトトンボ科

7. オツネントンボ
◎ (1♂) 1995.5.9 鳩山町熊井
8. ホソミオツネントンボ
◎ (2♂2♀) 1995.5.9 鳩山町熊井
◎ (1♂) 1995.5.23 秩父市柄谷
(2♂) 1995.6.21 皆野町国神
(♂♀若干) 1995.6.1 横瀬町赤穂木池
9. アオイトトンボ
◎ (2♂) 1995.9.12 皆野町国神
10. オオアオイトトンボ
(♂♀若干) 1995.7.15 皆野町国神
◎ (1♂) 1995.9.12 秩父市柄谷
柄谷で見た個体は、非常に小型だった。

カワトンボ科

11. ハグロトンボ
(♂♀若干) 1995.6.24 東松山市上唐子
12. アオハダトンボ
◎ (2♂1♀) 1995.5.25 東松山市上唐子
13. ミヤマカワトンボ
(1♀) 1995.5.9 小川町古寺
(♂♀多数) 1995.5.20 越生町黒山
(1♂) 1995.5.23 秩父市柄谷
14. ヒガシカワトンボ
(1♂) 1995.4.27 越生町大谷
(♂♀若干) 1995.5.9 毛呂山町大谷木
(♂♀若干) 1995.5.9 小川町古寺
(2♂) 1995.5.18 鳩山町熊井
(♂♀若干) 1995.5.20 越生町黒山
(3♂1♀) 1995.5.23 秩父市柄谷
(3♂内1♂燈) 1995.5.23 皆野町国神

サナエトンボ科

15. ミヤマサナエ
(4ex) 1995.5.31 東松山市上唐子
16. ナゴヤサナエ
◎ (2♂1♀) 1995.8.29 北本市石戸宿
17. ヤマサナエ

- ◎ (1♂) 1995.5.23 秩父市尾田蒔
18. キイロサナエ
◎ (3♂1♀) 1995.6.24 東松山市上唐子
上唐子周辺では、比較的安定して発生しているようである。今後、上流に砂防ダムがつくられるようなことがなければよいのだが。
19. ホンサナエ
(1♂) 1995.5.18 鳩山町熊井
◎ (♂♀多数) 1995.5.31 東松山市上唐子
今年は、例年になく多くの個体が見られた。
20. コサナエ
◎ (♂♀若干) 1995.4.27 東松山市上唐子
(1♀) 1995.4.27 越生町大谷
◎ (2♂1♀) 1995.5.9 鳩山町熊井
(♂若干) 1995.5.23 秩父市尾田蒔
(♂♀若干) 1995.5.23 秩父市柄谷
◎ (1♂) 1995.7.15 皆野町国神
21. ダビドサナエ
◎ (♂♀若干) 1995.4.27 東松山市上唐子
◎ (♂若干) 1995.5.9 毛呂山町大谷木
(1♂) 1995.5.9 小川町古寺
(1♂) 1995.5.20 越生町黒山
22. クロサナエ
◎ (1♂) 1995.5.9 毛呂山町大谷木
23. アオサナエ
(♂♀多数) 1995.5.25 東松山市上唐子
24. オナガサナエ
(羽化殻若干) 1995.6.21 東松山市上唐子
25. コオニヤンマ
◎ (3♂) 1995.7.15 皆野町国神
◎ (2♂2♀) 1995.8.29 東松山市上唐子
- オニヤンマ科**
26. オニヤンマ
◎ (1♂) 1995.7.15 皆野町国神
(2♂) 1995.8.29 東松山市上唐子
(♂♀若干) 1995.8.29 北本市石戸宿
(♂♀若干) 1995.9.12 秩父市柄谷
- ヤンマ科**
27. サラサヤンマ
◎ (2♂) 1995.6.1 秩父市尾田蒔
28. ミルンヤンマ
(1♀) 1995.10.13 皆野町国神
29. カトリヤンマ
◎ (1♂) 1995.7.25 皆野町国神
30. ヤブヤンマ
(1♂) 1995.7.15 皆野町国神
31. ルリボシヤンマ
1羽化殻 1995.7.25 皆野町国神
今年は、成虫を見ることが出来なかった。
32. オオルリボシヤンマ
◎ (3♂2♀) 1995.9.22 皆野町国神
上記2♀の内、1頭は、青色型だった。どちらも産卵していたが、なぜか、青色型の方ばかりが♂にモテモテだった。
33. マルタンヤンマ
◎ (1♀) 1995.7.25 皆野町国神
34. ギンヤンマ
(3♂1♀) 1995.5.23 皆野町国神
(1♂) 1995.6.1 秩父市尾田蒔
(1♂) 1995.8.29 東松山市上唐子
(1♂) 1995.8.29 北本市石戸宿
(1羽化殻) 1995.9.12 秩父市柄谷
35. クロスジギンヤンマ
◎ (1♀4羽化殻) 1995.4.21 皆野町国神
(2♂) 1995.5.23 秩父市尾田蒔
(4♂) 1995.5.23 秩父市柄谷
(1♀) 1995.5.25 東松山市上唐子
(1♂) 1995.6.1 横瀬町赤穂木池
- エゾトンボ科**
36. タカネトンボ
◎ (3♂1♀) 1995.9.12 秩父市柄谷
◎ (1♂) 1995.9.22 皆野町国神
37. コヤマトンボ
(1♂1♀) 1995.5.25 東松山市上唐子
◎ (2♂) 1995.6.24 毛呂山町大谷木
38. オオヤマトンボ
◎ (1♂) 1995.5.25 北本市蓮沼
- トンボ科**
39. ハラビロトンボ
(2ex) 1995.5.23 秩父市尾田蒔
(1♀) 1995.5.23 皆野町国神
(1♂) 1995.6.1 横瀬町赤穂木池
40. シオカラトンボ
(1ex) 1995.5.9 鳩山町熊井
(1ex) 1995.5.18 東松山市上唐子
(1ex) 1995.5.23 秩父市柄谷
(♂♀若干) 1995.6.1 皆野町国神
(♂♀若干) 1995.6.1 横瀬町赤穂木池
(♂♀若干) 1995.6.1 秩父市尾田蒔
(♂♀若干) 1995.6.24 毛呂山町大谷木

- (♂♀若干) 1995.8.29 東松山市市ノ川
 (♂♀若干) 1995.8.29 北本市蓮沼
 (♂♀若干) 1995.8.29 北本市石戸宿
41. シオヤトンボ
 (♂♀若干) 1995.4.27 越生町大谷
 (1♀) 1995.5.18 鳩山町熊井
 (2♂) 1995.5.18 毛呂山町大谷木
 (♂♀若干) 1995.5.23 秩父市尾田壽
 (♂♀若干) 1995.5.23 秩父市柄谷
 (♂♀若干) 1995.5.23 皆野町国神
 (♂♀若干) 1995.6.1 横瀬町赤穂木池
42. オオシオカラトンボ
 (♂♀多数) 1995.7.15 皆野町国神
 (♂♀若干) 1995.9.12 秩父市柄谷
43. ヨツボシトンボ
 (7♂) 1995.5.23 秩父市尾田壽
 (2♂) 1995.6.1 皆野町国神
44. ショウジョウトンボ
 (2♂) 1995.5.23 皆野町国神
 (♂♀若干) 1995.6.1 横瀬町赤穂木池
 (♂♀若干) 1995.6.1 秩父市尾田壽
45. コフキトンボ
 (2♂) 1995.8.29 東松山市市ノ川
 (1♂) 1995.8.29 北本市蓮沼
46. ミヤマアカネ
 (1♀) 1995.9.12 皆野町国神
47. ナツアカネ
 (2♂) 1995.8.29 北本市石戸宿
 (♂♀若干) 1995.9.22 皆野町国神
48. アキアカネ
 (1♀) 1995.7.25 皆野町国神
 (♂♀若干) 1995.9.12 秩父市柄谷
49. ヒメアカネ
 ◎ (1♀) 1995.7.15 皆野町国神
 (1♂) 1995.9.12 秩父市柄谷
50. マユタテアカネ
 ◎ (♂♀若干) 1995.7.15 皆野町国神
 (♂♀若干) 1995.9.12 秩父市柄谷
51. リスアカネ
 (1♂) 1995.9.12 秩父市柄谷
 (1♂) 1995.9.12 皆野町国神
52. ノシメトンボ
 (♂♀多数) 1995.8.29 北本市石戸宿
 (♂♀若干) 1995.9.12 秩父市柄谷
 (♂♀若干) 1995.9.12 皆野町国神
53. コノシメトンボ
 ◎ (♂♀若干) 1995.10.13 皆野町国神
- 今年は、比較的多く見られた。
54. ネキトンボ
 ◎ (♂♀若干) 1995.9.12 秩父市柄谷
 (♂♀若干) 1995.10.13 皆野町国神
 10.13国神において、本種♂と、キトンボ♀の異種間連結と思われるものを目撃したが、確認はしていない。
55. キトンボ
 ◎ (3♂1♀) 1995.10.13 皆野町国神
 今年は、国神において、連接産卵を観察することが出来た。
56. ウスバキトンボ
 (1ex) 1995.7.25 皆野町国神
 (♂♀若干) 1995.8.29 東松山市上唐子
 (♂♀若干) 1995.8.29 東松山市市ノ川
 (♂♀若干) 1995.8.29 北本市蓮沼
 (♂♀若干) 1995.8.29 北本市石戸宿
 (♂♀若干) 1995.9.12 秩父市柄谷
57. コシアキトンボ
 (1♂) 1995.6.17 皆野町国神
 (♂♀若干) 1995.8.29 東松山市上唐子
 (1♂) 1995.8.29 北本市石戸宿
- 今年もっとも残念だったのは、オゼイトトンボの生存を確認できなかったことである。これについては、来年以降の調査に期待したい。
- 4年間トンボを調べてみて感じたのは、思ったより多くの種類が、今でも健在であるという事だ。埼玉県において、記録されているトンボ類は89種とされている。このうち、今日確実に見ることができるのはおそらく70数種だと思われる。中には、開発の進んだ埼玉においては発見するのが難しいと思っていたキイロサンエ、ホンサンエ、ナゴヤサンエ、アオハダトンボ、ネアカヨシシャンマなども含まれ、これらが、今でも一部の地域において健在であるのはうれしいことである。
- 勿論筆者は、今後も、埼玉のトンボを追いかけていくつもりである。
- (まつざき ゆういち 〒202 保谷市泉町
 3-8-19 ラ・フォンテーヌ壱番館 205)

皆野町国神のオゼイトトンボ その後 (1)

松崎 雄一

筆者は、皆野町国神において、本種を発見し、現在のところ当地が県内唯一の産地であると報告してきたが（本誌69、74号），本種がかなり希少な種であることも含め、国神の環境がゴルフ場によってかなり変化していることから、しっかりした追跡調査の必要があると考え、まず1995年度の調査報告を行うこととした。報告に当たり、これを勧めてくださった碓井徹氏ならびに、調査にご同行いただいた松田幸弘氏にお礼申し上げる。

調査期間は、一般に本種の出現期とされる、5～7月とし、一応7月25日までの調査記録をまとめた。一方、筆者は、昨年まで、延べ8頭の本種を確認しているが、詳細は以下の通りである。

- 1993. 6 / 4 一ト星池の岸にて、比較的未熟な1♂を採集。
- 1993. 6 / 11 池下の湿地にて、比較的未熟な1♂を観察。
- 1994. 5 / 19 池下の湿地にて、羽化間もない1♀を観察。
- 1994. 5 / 23 同所にて、1♀を観察。
- 1994. 6 / 4 同所にて、成熟2♂の縄張り行動を観察。ほか、羽化直後の1♂と成熟1♀を観察。

過去2年の状況からすると、本種は6月前半を中心に活動していたと考えられる。今年は、このことを十分参考にして、調査に臨むつもりであったが、仕事と育児に連日の悪天候が重なり、満足に調査できなかつた。詳細は、以下の通り。

1995年度オゼイトトンボ生息調査

5/23 AM11:40～12:10 晴れ 22° 風やや強い

池岸にてオオイトトンボ系の連接態を目撃。♂の色合いや♀の10節がオゼイトトンボのそれっぽい感じはしたが確認はできなかった。（50cm位の距離にいたが、撮影しようとレンズを広角から望遠に換えている隙に池の中ほどに移動してしまった。捕えて確認しようかとも思ったが、もしオゼイトだったら、せっかく交尾しているものを刺激してしまうのは今後のためにはましいと考えそのままにしておいた。）

6/1 9:40～11:30 晴れ 風強い 松田氏同行

オゼイトトンボはまったくみられず。午後までねばれば羽化してきたかもしれないが…

6/17 14:20～16 晴れ 28°

湿地でみられるのは、キイトトンボ、モノサシトンボ、ハラビロトンボなどで、本種は全く見られない。モートンイトトンボが見られないのも気になる。

6/21 10～11 曇り後雨 25°

全くいない。

7/15 10:40～12:40 晴れ時々曇り 31°

湿地には、ハラビロトンボが多く、アカネ類が若干頭羽化していたほか、数頭のコオニヤンマが見られたが、本種は全くいない。

7/25 16:30～18:20 晴れ 35°

マルタンヤンマの撮影のついでに、湿地を見たが、時折飛び出すのはハラビロトンボやオオシオカラトン

ボで、本種は全くいない。モートンイトトンボも結局見ることができなかつた。

以上、6回の調査は、全くの空振りに終わった。

今年、本種を確認できなかつたことで、当地において絶滅したと直ちに決めつけることはできないが、調査時に得た、新たな知見も含めて、今後について考えてみたい。

まず、5月に見た個体が本種である可能性が、少なからずあると考えられるので、来年は、5月中から注意して調べる必要がある。また、6月2日から6月16日といつた、過去二年から考えられる本種の最盛期をはずしたことが、発見できなかつた1つの要因だともいえる。

6月17日、当地を訪れた折り、一ト星池で地元の方にお話をうかがう機会があつたのだが、本種のメイン発生地と考えられる湿地は、10年ほど前に休耕田化したということである。だとすると、本種がこの湿地に住み着いたのはほんの最近のことと考えられる。ゴルフ場ができる前、一ト星池の上には、沢と湿地が広がつていて、サラサヤンマが生息していたという。おそらく、本種はそこに発生していく、その名残が今の湿地に細々と暮らしていたのではないかろうか。当地の存在にあと10年早く気づいていればそれも確認できたのだが。また、国神付近は、このあたり（おそらく秩父地方）で唯一農薬を使用していないのだという。今日でもキイトトンボが普通に見られるのはこれが要因ではないだろうか。

湿地自体の環境についてだが、1993年は殆ど湿地に踏みいることはしなかつた。しかし、94年は、かなり中を歩いたので環境が少し変わってきた。今年にいたっては、水面がかなりはつきり露出するようになった。本種と同様の環境に生息するモートンイトトンボも見られなくなつ事が何を意味するのか、これは来年以降の調査を待たなくてはならないだろう。いずれにせよ、本種の生態に詳しい方に生息環境を教えていただき、当該湿地を、それに見合うように整備していくことが当面の現実的保護策と考えられる。

尚、本種に関わる調査は、新たな産地の発見という課題も含めて来年以降も行つていただきたいと考えている。

(まつざき ゆういち 〒202 保谷市泉町 3-8-19 ラ・フォンテーヌ壱番館 205)

埼玉県では記録の少ないゲンゴロウ類の採集記録

碓井 徹

埼玉県では記録の少ない3種のゲンゴロウについて、これまでの採集記録を報告しておく。以下の3種の採集地は秩父市内の複数の池沼での記録であるが、詳細な地名は伏せておく。

なお、採集記録の公表について快諾された川名美佐男氏に感謝申し上げる。

ゲンゴロウ *Cybister japonicus* SHARP

秩父市 1990.10.3 1♂1♀ (碓井徹採集)
 秩父市 1990.10.14 1♂1♀ (川名美佐男採集)
 秩父市 1990.10.21 2♂1♀ (川名美佐男採集)

クロゲンゴロウ *Cybister brevis* AUBE

秩父市 1990.9.16 1♂1♀ (川名美佐男採集)
 秩父市 1990.10.21 5♂2♀ (川名美佐男採集)

シマゲンゴロウ *Hydaticus bowringi* CLARK

秩父市 1991.9.22 2exs. (碓井徹採集)
 秩父市 1994.6.17 3exs. (碓井徹採集)
 秩父市 1994.9.4 2♂1♀ (碓井徹採集)
 秩父市 1995.10.4 1♂ (碓井徹採集)

(うすい とおる 〒362 上尾市壱丁目 454-3)

・・・・・

飯能市多峰主山で採集したトンボ3種の記録

伊藤 智

・・・・・

飯能市飯能の天覧山と多峰主山に挟まれた谷地から多峰主山頂にかけてのトンボ類については、若菜・若菜(1994)により1991から1993年の調査結果およびそれ以前の文献から44種が記録されている。また伊藤ら(1995)の記録の中には、同所での1980年代中頃から後半にかけての11種の採集記録が含まれている。筆者は1995年に当該地および周辺域において数度の調査を行い、多峰主山においては記録の無いトンボ3種を採集しているので報告する。

アジアイトトンボ *Ischnura asiatica* BRAUER

1♀, 22. ix. 1995

水面に浮いていた死体を採集した。採集地は南西中腹部で飯能市永田となる。

コノシメトンボ *Sympetrum baccha matutinum* RIS

1♀, 12. ix. 1995

雨乞池畔の林縁の枯枝に静止していた成熟個体である。

コシアキトンボ *Pseudothemis zonata* (BURMEISTER)

1♀, 13. ix. 1995

山麓の林縁で摂食飛翔していた未成熟個体である。採集地は南東麓で飯能市飯能となる。

飯能市飯能から永田にかけての多峰主山の南側には、流れ出す沢が形作る谷地がいくつかある。当然ながら、それらの地で発生する種構成には違いないものと思われる。

当地において、数少ない開放水面を持った雨乞池は、現在コイや金魚が放たれており、今後は発生するトンボの種類数ならびに個体数が更に貧弱になる可能性がある。永田方面の中腹部には、更に小規模ながら開放水面を持つ場所があり、そこでは近年雨乞池から姿を消しつつあるネキトンボも確認している。

若菜・若菜(1994)により記録された44種の中には、当地においては発生していないと思われる種が含まれ、実際に発生している種に限ると30種未満になるものと思われる。しかし、周辺地域からの飛来と思われる種がある程度の数を占めるということは、当地がトンボ類にとって摂食や休息の場所として高い価値を持つことを示すものと考えられ、環境の保全が望まれる。

参考文献

伊藤智・浦塚洋一・広瀬良宏, 1995. 埼玉県のトンボに関する一資料. 寄せ蛾記, (74):1797-1802.
若菜一郎・若菜康史, 1994.

飯能市飯能の天覧山、多峰主山をむすぶ低山地に囲まれた地域のトンボ類について.
シブチャン, (1):4-14.

・・・・・・・・

Macintoshのラベル作り

星野 正博

皆さんはラベルをどのようにして作っていますか。BASICによるラベル作り(寄せ蛾記43号)の時代はとっくに去り、ワープロと縮小コピーの時代に入って早7~8年、編集長も出来映えに注目の「一歩進んだラベル作り」のHintを紹介します。

当談話会では寄せ蛾記、月刊の縁友路地、現在進行中の昆虫誌作りではMacintoshというパソコンが大活躍をしています。最初の購入者は編集長ですが宣伝効果が浸透したのか周辺には何人かの所有会員がいます。「虫屋の多くに支持されている」かどうかは分かりませんが著名な方々も使用されているとの情報が伝えられています。250名もの談話会ですから個人、職場等で使える方はかなりいると思うのですが。この記事の内容をWindowsのワープロソフトで実行可能かどうかは分かりません。

「○太郎」一色に近いDOSパソコンの世界と違つてMacintoshのワープロソフトは種々のユニークな機能を持ったソフトが戦国時代を迎えていましたが、多くのソフトに共通する基本的機能のみでラベルを作成してみましょう。プリンターはインクジェットで十分ですが、レーザープリンターがあればなお結構です。家では前者、仕事場では後者ですが何とNEC製をPC98と快適? (遅い)に共用しています。

ラベル作りのポイント

- ① 見やすい大きさで編集し縮小印刷する
(そのまま使えるのでコピー不要)
- ② 段組編集を使う
- ③ 均等割り付けする

① 見やすい大きさで編集し縮小印刷する

コピー不要:印刷したものをコピーすると品位が低下します(アナログデータのコピー)。直接縮小印刷が出来ることは品位の保持上大変有効と言えます。「ラベルなどは分かればいいんだ」という方は別として、美しい虫に美しいラベルをつけてコレクションを!と考えて居られる方には最適です。

ワープロやDOS版ワープロソフトで作業すると行間隔、文字間隔、ラベルの余白など、実際に出来上がった時の様子がはっきりしません。プリンター設定をしながら何回も印刷するのは資源の無駄です。プリンターが違うと設定を変更する必要がでできます。

Macintoshの特徴は画面どうりの印刷物が手に入

る事です。編集が終わったものを縮小印刷すればプリンターに依存せず目で見たイメージと同じものが得られ、即完成です。25~400%まで1%刻みで印刷を縮小、拡大出来ることは意外に忘れられている重要な機能です。では、以下のようにして画面を作りましょう

ラベルを編集する前にA4、B5などの用紙の種類と縮小率を決め(用紙設定メニューで)、次に見やすい大きさの文字でデータを作ります。12ボ(ポイント: 文字の大きさの単位)を50%縮小で印刷するのが適当でしょう。始めから小さな文字: 例えば6ボで組もうとすると画面が小さくて編集しにくくなります。もっと大きなポイントで作業したい時は縮小率を調節してください。

文字フォントは豊富ですが、ポイントを自由に設定出来るTrueTypeフォントの中から選ぶと良いでしょう。

② 段組編集を使う。

ラベル1つの横幅を1段の横幅するのがコツです。何段に組むかは用紙の大きさと横の文字数が関与します。段間隔(余白)は切り放しを考えて縮小前の寸法で2ミリくらいが適当です。

国内のラベルを漢字で書くか、ローマ字のみか、混在させるかは個人の好みです。漢字ラベルの例では印刷を50%縮小に設定した場合に一行7字では用紙がA4縦位置で10段組、ハガキ縦位置で5段組位です。ページレイアウトの設定で段の数や、上下左右の余白を調節する事で1駒の文字数が前後します。

行の間隔は12ボで5ミリ、各ラベルの上下の間隔は2ミリ(印刷後の間隔は縮小率から計算する)程度が切るときに良いでしょう。

ラベル1駒が4行の時、A4版1枚に約240駒が1度に印刷されます。多すぎるとときはハガキサイズ程度の用紙設定にすると良いでしょう。これでも1度に60駒程作れます。

注 段組編集というのは1ページの文章をいくつかに分けて示す事で、以前の寄せ蛾記は1段組ですがこの記事が2段組です。図示した見本は5段組です。

※ 余計なお世話

多くのソフトにヘッダーをつける機能があると思います。先頭行に縮小印刷後も読み易い24ボ程度の大きな文字で採集地点の見出しを入れると以下のよ

うな場合に便利でしょう。但し駒数は少し減ります。
出来たラベルを長期保管する方。退職後にゆっくり標本作製をしようと考えている方。すでに老眼の方。

③ 均等割り付けする

地名、年月日、採集者名などの項目が見本の同じ幅であるほうが見栄えは良いと思います(好き好きです)。均等割付機能はどのワープロにもあるようです。Tabキーを併用します。

1駒のデータを書き込んで間隔を調整後、このデータをコピーして必要な駒数だけペーストを実行します。

④ プリント

ハガキまでの厚みの用紙であればプリンターは文句を言わないようですから、気に入ったケント紙に直接プリントしておしまいです。ここがこの記事のミソで①の後半で述べたように縮小されたものがプリンターから出てくるのです。コピー機の前で縮小率を考えたりケント紙の中央にうまくコピーされるか、という悩みや失敗は無くなるでしょう。

ここで問題になるのがプリンターの解像度です。安価に出回っているインクジェットの300dpiでなら不満無く美しく仕上がります。600dpiのレーザープリンターが更によいといつても良く見なければ見分けがつくほどではありません。

⑤ 完成

インクジェットも最近は水にじむ事はないようですが、レーザープリンターの場合も含めて、デッサンの定着に使うスプレー式のフィクサチーフ:画材店で手に入る:で処理すると消えません。吹き付けには多少のコツが必要です。

後はカッターでカットして使います。定規に円盤上のセラミックカッターがついたものが便利です。

⑥ データの保存と活用

気に入ったレイアウトが完成したならば「ひな形」として保存します。ふつうに保存してから、そのファイルの「情報を見る」を実行してひな形にチェックを入れます。

次回からは検索・置換で場所や日付を書き換えると短時間に必要数が出来ます。検索・置換機能は範囲を指定して1度に置換出来るソフトもあるようです。1つずつやってもそれほど時間はかかりません。

同じ場所へ行くことも考えてファイルは保存しましょう。ファイル名は年月と地名をつけておくと便利です(例 95/04 弥彦山)。

Macintoshを使っていると毎度フロッピーに保存するという作業を忘がちですがひな形くらいはフロッピーに保存しておかないとハードディスクの事故(3年ほど前にクラッシュのため全データーを失つ

たことがある)で痛い目に遭いますよ!

注 ひな形 いつも使う定型文書に用いる。ひな形に設定した書類を開こうとすると、自動的にコピーを作成して書類が開かれるので、元の文書が消えたり更新されたりする心配が無い。この機能は本体に備わったもので、ソフトに依存せずすべてのソフトに共通です。

⑦ 終わりに

以上を実現する為の設定はソフトによって多少異なります。各自の所有するソフトに合わせてひな形作りをしてください。Macintoshのソフトはガイドラインから外れたものはほとんど見当たらないので概ね同じ事が実現出来るはずです。

以前はワープロの古いファイルを探して書き直したり、新しく作ったりしていましたので毎回寸法が微妙に違っていました。私は気にならない方ですが(気にも同じにつくれないので)、これからはすべて同一寸法のラベルが恒久的にしてくれます。但し、フォントも含めてひな形の設定を変更しない事が肝要です。

印刷見本

実物大です。この大きさに不満があれば縮小率の変更で対処してください。

本誌の印刷上、実物と少し違っていると思いますが、実物はコピーで作られたものに比べて素晴らしい出来です(誰が作っても)。通常のコピーを顕微鏡で見ると白の部分にもカーボンの粒子が散らばっていますが、インクジェットではそのような事はありません。レーザープリンターでも清掃を心掛けていればOKです。

1994年8月1~3日、夏期宿泊研 秩父
中津川大山沢、川又→滝川・入川、秩父

埼玉県 大滝村 埼玉県 大滝村 埼玉県 大滝村 埼玉県
大洞川上流域 中津仙峠 大山沢 滝川 国道140号 入
1994年 8月 1日 1994年 8月 2日 1994年 8月 3日 199
星野正博 採集 星野正博 採集 星野正博 採集 星野
埼玉県 大滝村 埼玉県 大滝村 埼玉県 大滝村 埼玉県
大洞川上流域 中津仙峠 大山沢 滝川 国道140号 入
1994年 8月 1日 1994年 8月 2日 1994年 8月 3日 199
星野正博 採集 星野正博 採集 星野正博 採集 星野
埼玉県 大滝村 埼玉県 大滝村 埼玉県 大滝村 埼玉県
大洞川上流域 中津仙峠 大山沢 滝川 国道140号 入
1994年 8月 1日 1994年 8月 2日 1994年 8月 3日 199
星野正博 採集 星野正博 採集 星野正博 採集 星野
埼玉県 大滝村 埼玉県 大滝村 埼玉県 大滝村 埼玉県
大洞川上流域 中津仙峠 大山沢 滝川 国道140号 入
1994年 8月 1日 1994年 8月 2日 1994年 8月 3日 199
星野正博 採集 星野正博 採集 星野正博 採集 星野
埼玉県 大滝村 埼玉県 大滝村 埼玉県 大滝村 埼玉県
大洞川上流域 中津仙峠 大山沢 滝川 国道140号 入

· · · · ·
与野市内でクロヒカゲ、ミドリヒヨウモンを採集

星野 正博

· · · · ·

クロヒカゲ 1♀ 1995年7月14日 与野市下落合 採集

少し薄暗くなりかけた18時前頃、自宅前の路上に静止する個体を発見した。ゆっくり近づくと飛んだが周囲を旋回してすぐに元の辺りに止まった。これは後述のように翅がかなり欠けていて飛びにくいためであろう。そっと近づいて革手袋のまま前翅をつまんだら大暴れして大きく傷がついた。後翅は下半分が左右対称に欠けているが、静止中に眼状紋を鳥にいはまれた為と考えられる。傷を除けば割合に新鮮な個体と感じられた。低地の産地として狭山湖（入間市）付近での発生は6月中旬に盛期を迎えることを考えると、与野付近で幼虫から発生したと考えるには時期的に遅い。

自宅には草が茂って食草となり得るササやタケも少しあるが、過去に1度も見ていない。庭のヒメジャノメが絶滅してからかなりの時間が経過し、サトキマダラヒカゲは数年に1頭（昨年、今年、久しぶりに目撃）見掛けるかどうかといった市街化が進行した環境での記録である。この種が遠方まで飛んで採集されるような例は知らない。当日は雨天ではないが、雨量の多かった今年の梅雨の最中であり、風で運ばれるような条件も考えにくい。翌日が近隣の祭りであったが何かの準備品と共に運び込まれたとも考えにくい。造園業者が持ち込んだササにサナギが付着する事も有り得るが分布地域内から山取りのタケ、ササをわざわざ持ち込むとも考えにくい。このような状況下で偶発理由の不明な記録と言える。

碓井徹氏からうかがった川口市内の記録は巣瀬司氏によれば同定ミスとの見解であるが確認していない。浦和、大宮近辺の採集記録はない。市川・原(1978)など過去の文献が山地性と記述していることが引き金になり、平地の調査が見直され石塚(1991)、田中(1992)によって記録された。これらの文献では新座市、吉見町、江南町、滑川町を記録している。与野市に最も近いのは新座市であるが荒川を挟んでかなりの距離がある。私自身も江南町御正新田の県立農業教育センター内の雑木林にて1995年7月28日に多数のクロヒカゲを目撃し採集もした。以上の記録や近隣における私自身の採集観察を元にして考察すれば県南部では荒川の東側には本来分布していないと考えている。

ミドリヒヨウモン 1♀ 1995年9月28日 自宅の室内で採取

秋期に県南平野部で記録される事が時々ある。1979年前後には平野部での広範な発生が記録され、近年も幾つかの記録がある。例えば市川(1979)、星野(1980)、長田(1993)、長田(1994)等であるが、これ以外にも寄せ蛾記等に記録が散見される。

今回採集の個体がどのようにして室内に入ったのかは不明であるが、家人の話では25日から見掛けたそうで、結局28日に死亡直後の個体を発見して採取？した。ほぼ傷のない個体であった。

庭のブッドレアは近年元気がなくてヒヨウモンの誘引力が弱まっているが昨年もミドリヒヨウモンらしい1頭の飛来を目撃している。

以上2種とも本人保管

参考文献 以下引用順

- 市川和夫・原 聖樹 (1978) 埼玉県の蝶類；埼玉県動物誌
- 石塚禪法 (1991) 武藏野の雑木林の衰退と蝶の変遷 (1) ; 寄せ蛾記 (60):1124-1134
- 田中 剛 (1992) 武藏野台地のクロヒカゲについて；寄せ蛾記 (64):1343-1347
- 市川和夫 (1979) 浦和でミドリヒヨウモン；寄せ蛾記 (25):203
- 星野正博 (1980) 県南にミドリヒヨウモンがもどる？；寄せ蛾記 (30):252
- 長田志朗 (1993) 浦和市市街地におけるミドリヒヨウモンの目撃記録；寄せ蛾記 (68):1513
- 長田志朗 (1994) 1993年浦和市市街地におけるヒヨウモン類等の目撃記録；寄せ蛾記 (72):1685

越谷市でムスジイトトンボの眼後紋消失型を採集

上原 市郎

ムスジイトトンボ *Cercion sexlineatum* は、埼玉県内でも1992年までに僅か3産地だけが記録されている。3産地とも県内東南部に集中しており、今のところ個体数も少ないようである。以下の記録は、県内で4番目の産地となるが、やはり個体数は少ない。

採集地：越谷市大吉調節池

採集記録：1 ♂, 1995. Jun. 19. 上原市郎採集

: 2 ♂ (眼後紋完全消失型), 1995. Jun. 20. 上原市郎採集

: 1 ♂, 1995. Jun. 21. 上原市郎採集

当地での本種の最初の記録者は会員の西田彰氏であり、前年の1994年になされている。本種は、同属のセスジイトトンボ・オオイトトンボとよく似ているが、元々3種中で本種だけが後頭条を欠いており、眼後紋も極めて小さくて線状である。しかし上記の1 ♂は元来が線状である眼後紋が完全に消失していた。後額が真黒なので一見特異である。本種が普通に見られるような産地での個体変異はどのようなものだろうか。詳しく御存知の方は筆者まで御一報下されば幸いである。

なお、同所で昨年の1994年から採集してきた中に同属のセスジイトトンボとオオイトトンボも含まれているが、オオイトトンボ♂では後頭条が減退して分離している個体がかなり見られ、セスジイトトンボ♂では後頭条が完全に消失している個体が普通であった。この辺りのことは後日にまとめるつもりである。

(うえはら いちろう 〒343 越谷市花田 1-19-2)

越谷市でアオモンイトトンボ♂の黒化型を採集

上原 市郎

アオモンイトトンボ *Ischnura senegalensis* は、埼玉県内でも記録が多くなってきており、昨今では普通種といつてもよい状況であるが、今回県内では恐らく報告されていないと思われる黒化型を採集したので報告する。

採集地：越谷市大吉調節池

採集記録：1 ♂, 1995. May. 14. 上原市郎採集

: 1 ♂, 1995. May. 31. 上原市郎採集

“日本産トンボ幼虫・成虫検索図説 1988”によると、「翅胸前部の黒色部が広がって前肩条が完全に消失したものは♂だけに見られ、四国南部・南西諸島で春季に羽化するものに多い。」とある。今回採集した2 ♂は、前肩条が完全に消失した個体ではないが、左右ともほんの微かに地色の緑色が見えるだけでは真黒である。

なお筆者の自宅周辺にある本種の生息地では♂型の♀も珍しくないが、この型の♀の中には体色の地色が青色のものと青緑色のものも見られる。同属のマンシュウイトトンボの♀では多型が知られているので、同傾向の変異なのかもしれない。1991年以来多数の♂を見ているが、今までのところ♂は全て緑色型であり、青色型と青緑色型は確認していない。下記の♂型の4 ♀とも成熟個体である。

採集地：越谷市大吉調節池

採集記録：4 ♀ (2 ♀は♂型の♀で青色型), 1995. May. 30. 上原市郎採集

: 1 ♀ (♂型の♀で青緑色型), 1995. May. 31. 上原市郎採集

: 1 ♀ (♂型の♀で青色型), 1995. Jun. 10. 上原市郎採集

(うえはら いちろう 〒343 越谷市花田 1-19-2)

越谷市でホソミオツネントンボを採集

上原 市郎

従来、越谷市では未記録であったと思われるホソミオツネントンボ *Indolestes peregrinus* を採集しているので報告する。

採集地：越谷市大吉調節池

採集記録：3 ♂, 1995. Apr. 27. 上原市郎採集
: 1 ♂, 1995. May. 13. 上原市郎採集

4 ♂のいずれもが複眼の色彩と体色の地色が青色に変色していた。

(うえはら いちろう 〒343 越谷市花田 1-19-2)

蓮田市におけるネアカヨシヤンマの記録

吉永 潔

県東部ではほとんど記録のないネアカヨシヤンマを、自宅で発見しているので報告する。

この個体は、1995年8月9日自宅の風呂に居るものを見た。南に開いた玄関から進入したものと思われる。トンボの知識はないが、オニヤンマの様な模様があるわりに、いやに細い体なので明らかに自分の見たことのないトンボであると思いました。しかし、さほど珍しいトンボでもなかろうと思って、標本にするのがかわいそうになり（子供時代によくいたカトリヤンマと良く似た雰囲気があったからかも知れません）、写真に撮って（下の写真）逃がしてやりました。

自宅は、連田市内の元荒川岸で川岸堰堤から一段下りた位置にあり、対岸には水田が広がり2キロほど北西には山の神沼があってギンヤンマなど多くのトンボ類が居た場所です。

ネアカヨシヤンマ 1 ♀ (写真撮影：筆者, 写真による同定：碓井 徹)



(よしなが きよし 〒349-01 蓼田市西新宿 4-85-18)

北本市蓮沼におけるトラフトンボの記録

磯野 治司

筆者は埼玉県において久しく記録の途絶えていたトラフトンボ *Epitheca marginata* (Selys) を以下のとおり目撃しているので報告する。なお、※印を付したデーターは碓井徹氏による目撃記録で、氏のご好意により掲載させていただいた。

目撃地：北本市高尾蓮沼

目撃記録：個体数	年月日	時 間	天 候
1♂	1995.5.20	9:30~10:00	晴
3♂	1995.5.23	9:30~ 9:50	晴
1♂	1995.5.25	9:20~ 9:30	曇
2♂	1995.5.30	8:30~ 8:45	晴
2♂	1995.6.1	9:25~ 9:45	晴
※2♂	1995.6.11	9:00~10:00	晴

同所は北本市の北西端に位置し、大正年間に荒川の河川改修によって形成された河跡湖である。沼畔にはヨシ・コガマ・マコモ等が密生し、水面にはヒシ等の浮葉植物が繁茂している。流入河川はないが、湧水を水源とするため水質は良好で、県内の平野部においては、注目すべき水環境を維持している。

これまでに、コバンムシ・ミヤケミズムシ等の水生半翅類（林・碓井, 1990）や、ベニイトトンボ（碓井, 1991）。オオモノサシトンボ等のトンボ類（碓井, 1995）の他、注目すべき昆蟲類の生息が確認されている。トラフトンボについては数年前からその存在を予測し、意識的な調査を続けていたが、これまで1度も目撃できずにいた。今シーズンの調査においては、上記の通り比較的限定された時間帯でのみ目撃されており、これまでの調査で発見できなかったことは、このことと関係するかもしれない。なお、上記の目撃記録に関しては、同時に複数個体を目撃したこともあるが、同一個体を複数回カウントしている場合もあると考えられ、筆者が見る限り、当地における本種の生息密度は極めて低いことと考えられる。

未筆ながら、貴重なデータを寄せてくださいり、また本誌への発表をすすめてくださった碓井徹氏に心より感謝申し上げます。

参考文献

- 林 正美・碓井 徹 1990 埼玉県における水生異翅類2種の記録, ROSTRIA (40)
- 碓井 徹 1991 埼玉県では記録の少ないイトトンボ科5種の記録, 寄せ蛾記 (61) : 1176
- 碓井 徹 1995 北本市でオオモノサシトンボを探集, 寄せ蛾記 (74) : 1829
- 北本市史編さん室 1995 北本の動植物誌

(いその はるじ 〒363 桶川市上日出谷 683-9 アリーナハイツ A202)

・・・・・

蕨市にもいたタガメ

中川 利勝

・・・・・

30年以上も前の古い記録になるが、筆者は、蕨市上町（現在の北町4丁目）においてタガメを捕らえているので報告しておく。

記録地は、地図上に示された地点である。地図についてて、国土地理院昭和32年10月30日発行の1万分の1地形図「蕨」を使用した。したがって住居表示は、採集当時のままの地番で表されている。この地図を見ると、当時の上町は一面の水田であったことがわかる。また、溜め池然とした池沼が、住宅や水田の間に数多く点在していたことも窺い知れる。

筆者が幼少時、両親とともに東京都から埼玉県蕨市に居を移したのが、1960年（昭和35年）初頭のことである。後に調べてみると、昭和34年4月の蕨市の市制施行後、まもない時期だったようである。幼少時の断片的な記憶では、当時、自宅周辺は、一面の水田が広がっていたのを覚えている。国鉄（現在のJR）蕨駅から、自宅のあった大字蕨3190番地（後の上町3190番地）までは、距離にして1.2キロメートル程であつたが、水田の中に点々と住宅が区画ごとに点在していた状態であったので、自宅からは線路を走る電車の車両まで遠目にも見渡すことができたのを覚えている。大部分の水田で、農薬散布は行われていたと思うが、一当時、農薬散布後は、水田に赤旗が立てられていた。まだアメリカザリガニやウシガエル、トウキョウダルマガエルといった小動物も多く、自然相手の遊びには事欠かなかった。農家では、田植え前には耕運機が活躍したが、黒牛によって田を耕す長閑な光景もわずかながら見られたものである。

蕨市では、昭和30年代から人口が急増し始め、水田や空地は埋め立てられるなどして宅地に変わつていった訳であるが、当時は、溜め池とも休耕田ともつかないような、一年を通じ水を湛えた沼地のようなところが少なからず存在した。そこには、ヨシヤガマ、マコモ等が茂り、適度に荒れた自然が残されていた。蕨市では、現在の北町の奥や錦町、まだ蕨市に隣接する地区としては、川口市芝富士、浦和市文蔵などがそのような環境下にあった。筆者はこれらの沼地で、チョウトンボをはじめ、ウチワヤンマ、ギンヤンマ、オオヤマトンボ、コフキトンボ等のトンボ類を追い求めた経験をもつ。余談になるが、筆者の少年時代の写真の中に、空き箱を利用した標本箱を抱いて写っている写真がある。この写真の中の標本箱には、カブトムシなどの甲虫のほか、種々雑多の昆虫が並んでいる。その中に、当時浦和市（現在の文蔵地区）で採集したチョウトンボも2頭収められている。

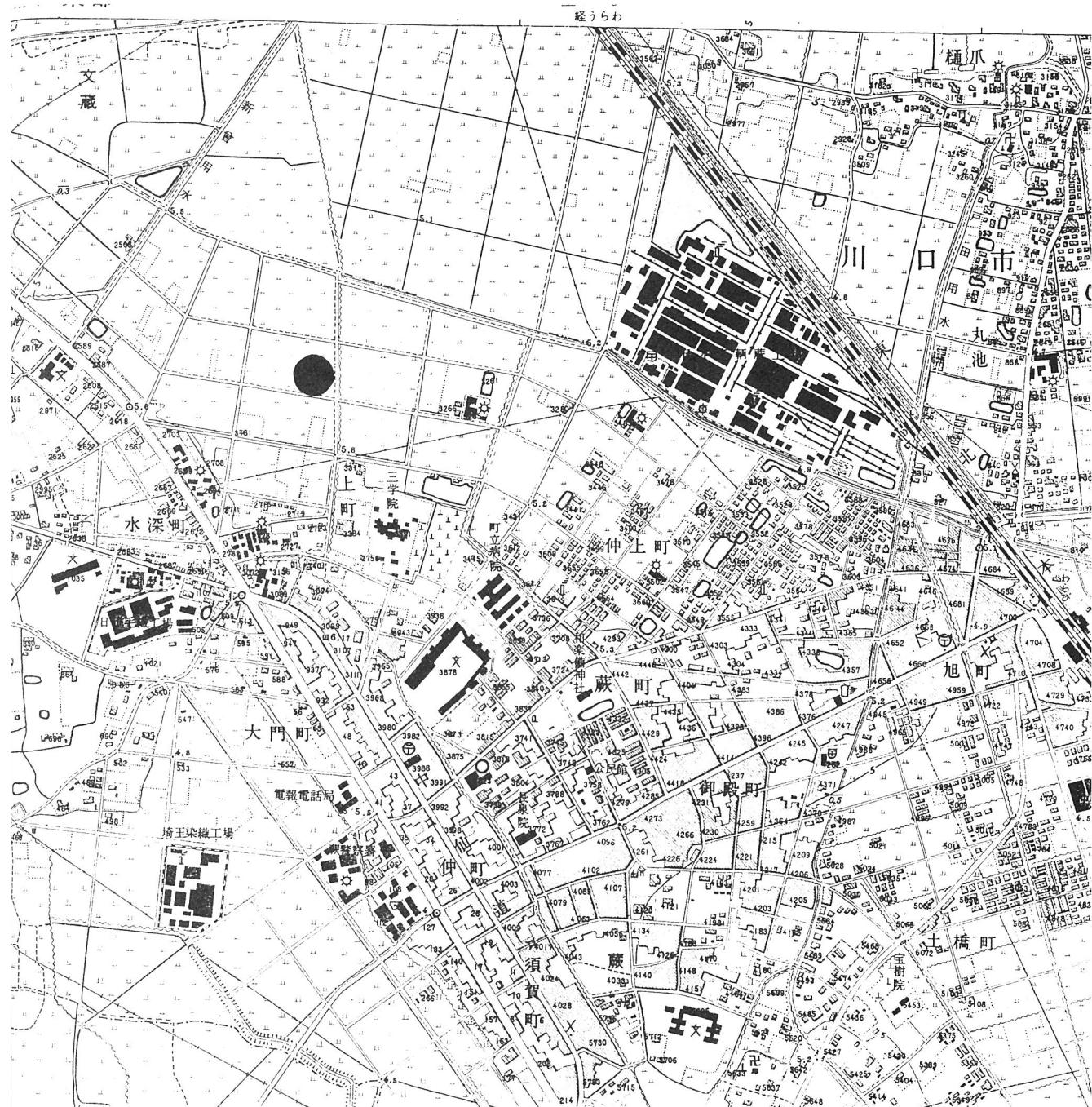
さて、表題のタガメについてであるが、埼玉県動物誌の「埼玉の半翅類（野沢、1978）」によれば、「県内各所の水田、池沼に生活し県南部でもよく見られたが、現在、激減しておりほとんど姿を見かけなくなつた」とある。筆者が県南に位置する蕨市上町の地において、タガメを採集したのは1964年（昭和39年）だと思われる。この報文を記すにあたり、筆者なりに過去のアルバム等を繙いて採集年度を特定した。蕨市上町の地に住み始めた当初は、自宅周囲には下水道が整備されておらず、秋の台風シーズンには付近を流れる小川から、雨水が未舗装の道路まで溢れ出し、床下浸水も度々であった。数年を待たずに、U字溝の下水道整備がなされた訳であるが、筆者のタガメ捕獲も、この自宅前の下水道整備の時期とほぼ一致している。筆者は自宅前の、このU字溝の内側にタガメが静止しているのを昼間発見し、手で捕らえた。

この個体は、あるいは前日の夜に、付近の池沼から飛来した個体かもしれない。というのも、住宅が少なかった当時は街路灯の数も少なく、水田に面した道路に至っては、夜間は漆黒の闇であった。それが、その当時自宅近くを流れる小川にかかる橋のたもとに街路灯（電球ではなく蛍光灯）が設置された。蕨市上町の自宅周辺では、三学院まで行かないと雑木林らしきものはなかったが、この街路灯には夜間何処から飛んでくるのか、よくカブトムシが飛來した。子供心に夏休みの早朝の街路灯の見回りが楽しかった記憶がある。捕れるときには一日おきくらいに捕れたが、いつのときも一匹ずつで、それもほとんどが♀であったのを覚えている。稀には、オオミズアオ等の大型の蛾も飛來した。同様に、きわめて趨光性の強いタガメもこの街路灯（蛍光灯）の光を目指して飛んできた個体ではなかつたかと思う。従つて筆者は、蕨市におけるタガメの記録については、最近よく話題にのぼる「放虫」といったものとは無縁であると考えている。さらにはまた、飼育下にあった個体が逃げ出したものであるとも考えていない。

今から30年以上も前の、少年時代の筆者には、この大型の水生半翅類のタガメが、それほどまでに貴重な

1995年12月

寄せ蛾記 (77) : 2023



● タガメ記録地点

昆虫であるといった認識はなかったし、寧ろ当時は、自然の豊富な丘陵地や山間部へ行けば、それほど珍しい昆虫ではなかったように考えていた。ところが現在では、極端に減少してしまい、環境庁編レッドデータブックの危急種に指定されている。これなどはマニアによる乱獲などではなく、農薬使用による生息地の水質の悪化とそれにともなう餌不足などの、まさに生息環境の悪化から、種が絶滅の危機に追いやられている一例であろう。筆者は専門が鱗翅類であり、タガメを求めて生息地を訪ねたことはないので、野外に限っていえば、このとき捕らえたタガメが最初にして最後の個体となっている。あのとき手にしたタガメの印象は、獰猛そうな外観とは異なり、案に反しておとなしく「静」のイメージであったことが記憶に残っている。

いずれにしても、埼玉県のタガメがまばろし化するなかで、貴重な記録になるかと思われたので、ここに報告し記録にとどめておく。

〔参考文献〕

野沢 雅美 (1978) 埼玉の半翅類. 埼玉県動物誌; 355-382

環境庁編 (1980) 日本の重要な昆虫類 南関東版; 1 - 81

環境庁編 (1991) 日本の絶滅のおそれのある野生生物

— レッドデータブック — 無脊椎動物編; 68

(なかがわ としかつ 〒333 川口市道合 22-1-302)

・・・・・

埼玉県でのトンボ類の目撃・採集記録

須田 真一

筆者がこれまで埼玉県内で目撃・採集してきたトンボ目昆虫について報告する。
以下の記録は、数字は目撃あるいは採集した個体数を示しており、性別が判別できたものは♂♀の記号を付した。また、羽化殻と書いてあるものは羽化殻の採取記録、(幼虫)とあるのはヤゴの採集記録で、それ以外は成虫の記録を意味し、目撃記録は(目撃)と表記した。なお、目撃記録は同定が確実なもののみをリストアップしており、多数(幼虫)とあるものに関しては、その種のヤゴを多数確認し、その一部を持ち帰ったと解釈していただきたい。たとえば、「6(幼虫), 7♂(目撃)」とあれば、6頭の幼虫を採集し、7頭の♂の成虫を目撃したことを示している。

地名については郡名を省略したが、次のとおりである。日高町；入間郡日高町(1990年より日高市となっている)、滑川町；比企郡滑川町、小川町；比企郡小川町、寄居町；大里郡寄居町。

アジアイトンボ	1♂羽化殻	1986.6.24	日高町高麗巾着田
クロイトンボ	2♂1♀(目撃)	1995.9.8	小川町中爪
	多数(目撃)	1995.8.3	東松山市上唐子(都幾川)
	少数(目撃)	1995.9.8	東松山市上唐子(都幾川)
セスジイトンボ	少数(目撃)	1995.8.3	東松山市上唐子(都幾川)
	多数(目撃)	1995.9.8	東松山市上唐子(都幾川)
モノサシトンボ	1♂(目撃)	1995.9.8	小川町中爪
アオハダトンボ	多数(幼虫)	1984.12.21	日高町高麗川(巾着田付近)
	多数(幼虫)	1984.12.27	東松山市高坂(都幾川)
	2(幼虫)	1995.9.8	東松山市上唐子(都幾川)
ハグロトンボ	1♀(目撃)	1994.10.19	東松山市西本宿
	多数(幼虫)	1984.12.27	東松山市高坂(都幾川)
	多数(目撃), 3♂3♀	1995.8.3	東松山市上唐子(都幾川)
	多数(目撃)	1995.9.8	東松山市上唐子(都幾川)
ヒガシカワトンボ	多数(幼虫)	1984.12.21	日高町高麗川(巾着田付近)
ミヤマカワトンボ	多数(幼虫)	1984.12.21	日高町高麗川(巾着田付近)
アオサナエ	多数(幼虫)	1984.12.21	日高町高麗川(巾着田付近)
	多数(幼虫)	1984.12.27	東松山市高坂(都幾川)
	12(幼虫)	1995.9.8	東松山市上唐子(都幾川)
オジロサナエ	1♂羽化殻	1986.6.24	日高町高麗川(巾着田付近)
	1♀	1995.8.3	寄居町末野
オナガサナエ	2(幼虫)	1984.12.27	東松山市高坂(都幾川)
	1羽化殻	1985.8.22	飯能市阿須(入間川)
	6(幼虫), 7♂(目撃)	1995.9.8	東松山市上唐子(都幾川)
キイロサナエ	3(幼虫)	1984.12.27	東松山市高坂(都幾川)
	6(幼虫)	1995.9.8	東松山市上唐子(都幾川)
コオニヤンマ	多数(幼虫)	1984.12.21	日高町高麗川(巾着田付近)
	多数(幼虫), 1♂(目撃)	1995.9.8	東松山市上唐子(都幾川)
コサナエ	4(幼虫)	1984.12.21	日高町高麗巾着田
	多数(幼虫)	1990.3.22	飯能市多峰主山(雨乞の池)
	7(幼虫)	1994.10.19	滑川町羽尾
	多数(幼虫)	1995.9.8	小川町中爪
ダビドサナエ	多数(幼虫)	1984.12.21	日高町高麗川(巾着田付近)
	多数(幼虫)	1984.12.27	東松山市高坂(都幾川)
ホンサナエ	4(幼虫)	1984.12.27	東松山市高坂(都幾川)

	3 (幼虫)	1995. 9 . 8	東松山市上唐子 (都幾川)
ヤマサナエ	2 (幼虫)	1984. 12. 21	日高町高麗巾着田
ミヤマサナエ	4 (幼虫)	1984. 12. 27	東松山市高坂 (都幾川)
	1 ♂ (目撃)	1995. 9 . 8	東松山市上唐子 (都幾川)
ウチワヤンマ	2 羽化殻	1980. 8 . 22	飯能市宮沢湖
オニヤンマ	多数 (目撃)	1995. 8 . 3	寄居町末野
	1 ♂ (目撃)	1995. 8 . 3	東松山市上唐子 (都幾川)
	3 (幼虫), 3 ♂ 1 ♀ (目撃)	1995. 9 . 8	小川町中爪
ギンヤンマ	1 (幼虫)	1994. 10. 19	東松山市岩殿
	1 ♂ (目撃)	1995. 8 . 3	東松山市上唐子 (都幾川)
	1 (幼虫), 1 ♂ (目撃)	1995. 9 . 8	小川町中爪
	3 (幼虫)	1995. 9 . 8	東松山市上唐子 (都幾川)
クロスジギンヤンマ	1 (幼虫)	1994. 10. 19	東松山市岩殿
	2 (幼虫)	1994. 10. 19	滑川町羽尾
	1 (幼虫)	1984. 12. 21	日高町高麗巾着田
サラサヤンマ	1 ♀ 羽化殻	1986. 5. 27	入間市狭山湖
	1 ♀ 羽化殻	1987. 5. 22	入間市狭山湖
マルタンヤンマ	1 ♂ 羽化殻	1986. 8. 22	飯能市多峰主山 (雨乞の池)
	6 (幼虫)	1994. 10. 19	滑川町羽尾
	1 (幼虫)	1994. 10. 19	東松山市岩殿
	1 ♀ (目撃)	1995. 8 . 3	寄居町末野
ミルンヤンマ	1 羽化殻	1985. 8. 22	飯能市阿須 (入間川)
ヤブヤンマ	2 ♀ 羽化殻	1986. 8. 22	飯能市多峰主山 (雨乞の池)
	1 ♂ 4 ♀ (幼虫)	1989. 6 . 3	入間市狭山湖
ルリボシヤンマ	1 ♀ 羽化殻	1986. 8. 21	飯能市多峰主山 (雨乞の池)
	3 ♂ 3 ♀ 羽化殻	1986. 8. 22	飯能市多峰主山 (雨乞の池)
コヤマトンボ	多数 (幼虫)	1984. 12. 21	日高町高麗川 (巾着田付近)
	多数 (幼虫)	1984. 12. 27	東松山市高坂 (都幾川)
	多数 (幼虫)	1995. 9 . 8	東松山市上唐子 (都幾川)
オオヤマトンボ	1 羽化殻	1980. 8. 22	飯能市宮沢湖
オオエゾトンボ	2 ♂ 1 ♀ (幼虫)	1989. 6 . 3	入間市狭山湖
タカネトンボ	1 ♀ (幼虫)	1989. 6 . 3	入間市狭山湖
	多数 (幼虫)	1990. 3. 22	飯能市多峰主山 (雨乞の池)
オオシオカラトンボ	多数 (目撃)	1995. 8 . 3	寄居町末野
	1 ♂ (目撃)	1995. 9 . 8	小川町中爪
シオカラトンボ	多数 (目撃)	1995. 8 . 3	寄居町末野
	1 ♂ (目撃)	1995. 9 . 8	小川町中爪
アキアカネ	少数 (目撃)	1994. 10. 19	滑川町羽尾
	少数 (目撃)	1994. 10. 19	東松山市岩殿
	少数 (目撃)	1994. 10. 19	東松山市西本宿
ナツアカネ	少数 (目撃)	1994. 10. 19	東松山市岩殿
	多数 (目撃)	1994. 10. 19	滑川町羽尾
	少数 (目撃)	1995. 9 . 8	小川町中爪
ネキトンボ	1 ♂ 羽化殻	1986. 8. 21	飯能市多峰主山 (雨乞の池)
	多数羽化殻	1986. 8. 22	飯能市多峰主山 (雨乞の池)
マユタテアカネ	少数 (目撃)	1994. 10. 19	東松山市岩殿
	少数 (目撃)	1994. 10. 19	東松山市西本宿
	多数 (目撃)	1994. 10. 19	滑川町羽尾
	少数 (目撃)	1995. 8 . 3	寄居町末野
	少数 (目撃)	1995. 9 . 8	小川町中爪
ミヤマアカネ	1 ♂ (目撃)	1994. 10. 19	滑川町羽尾

ウスバキトンボ 少数（目撃） 1995.8.3 寄居町末野
 少数（目撃） 1995.9.8 小川町中爪
 少数（目撃） 1995.9.8 東松山市上唐子（都幾川）

(すだ しんいち 〒167 東京都杉並区南荻窪 4-1-2)

書籍の紹介

『北本の動植物誌』

(紹介者：碓井徹)

埼玉県北本市教育委員会市史編さん室 編集 同教育委員会 1995年2月28日発行
 B5版466pp.+カラー・グラビア50pp., 上製本函入り 頒布価格2,000円

埼玉県中央部に位置する北本市は、1985-86年に“北本市石戸宿昆虫類調査”を会をあげて取り組んだ当会にとって、そして各種昆虫類の記録地としてその地名を頻繁に目にする「寄せ蛾記」愛読者にとっても、たいへんなじみの深い土地である。この北本市が、本年2月に「北本の動植物誌」という、関東地方平野部の動物相・植物相を把握する上でたいへん重要な役割を担う刊行物を出しているので、その編集に関わった者として、やや手前味噌ながらこの書籍を紹介をしておきたい。

『北本の動植物誌』は、1990年から1993年にかけておこなわれた“北本市自然委託調査”的調査成果をまとめて公表することを主たる目的として、1978年にスタートした同市の市史編さん事業における別冊編の第6冊目として1995年2月28日に刊行された。この市史編さん事業を推進してきた同市教育委員会市史編さん室は、1990年3月に刊行された「第3巻上 自然・原始 資料編」の第7章「北本の動物」で、故市川和夫氏が陸生動物について、大熊光治氏が水生動物について調査執筆したあたりから埼玉昆虫談話会とは縁が深くなり、この市川・大熊両会員と当時の編さん室長であった三宮幸雄氏の「もっと緻密な動植物相調査を時間をかけておこなうべき土地である」という合意によって、“北本市自然委託調査”がスタートしたのである。それと前後して、当時の同室主任であった磯野治司氏、三宮室長が相次いで埼玉昆虫談話会に入会され、編さん室の他のスタッフの方々も巻き込んで昆虫類の調査に着手した。室長自らネットを振りまわして虫を調べる市史編さん室というのは、全国広しと言えどおそらくこの北本市ぐらいであろう。三宮・磯野両氏による北本のトンボ相に関する報文が次々と本誌上を賑わしたことは読者の皆さんによく御存知のことであり、その後も、磯野氏は執念でトラフトンボの北本市での棲息を今年5月に突き止め（埼玉県でも30年ぶりの再発見である。本誌報文を参照）、また、今年度の本誌の表紙の原画を描いてくださっている。

さて、実質的には5年の調査期間を費やした“北本市自然委託調査”は、途中で統括責任者の市川和夫氏の死去という悲しむべき出来事があったものの、市史編さん室の頑張りで、市民を巻き込んでの自然観察調査会や公民館での講演会や動植物展などのイベントなどもおこないながら、着々と成果を積み重ねていった。また、調査と平行して、そのまとめをどのような形で印刷物にするかという議論も早いうちからおこなわれ、「寄せ蛾記」作りで多少の経験がある筆者が、簡易DTPでグラまで作ることに話がまとまった。筆者がこの編集作業を引き受けた理由は、「埼玉県昆虫誌」の計画が視野にはいっていたので、この「北本の動植物誌」を手がけることで、数百ページの刊行物を作る際に「寄せ蛾記」作りのノウハウがどこまで利用できるのかを「昆虫誌」に先駆けて経験できるという目論見もあったし、何より、膨大な作業をこなしている市史編さん室に、費用の面でも割り付けや校正といった作業面でもあまり大きな負担をかけずに「北本の動植物誌」を充実した内容のものにするには、各執筆者によってフロッピー入稿された原稿を「寄せ蛾記」風に料理してしまうのがベストの方法であると思ったからである。実際に当方のMacintosh+SoloWriter（ワープロソフト）でどのような作業手順でこの「北本の動植物誌」が出来上がったかについては、また別の原稿を用意したいと考えており、ここでは省略する。

“北本市自然委託調査”的各分野の調査員は、そのまま「北本の動植物誌」の執筆者でもある。以下に、各分野の担当者とページ数、扱った種数を挙げておく。なお、人名が太字で表記されているのは埼玉昆虫談話会会員である。なお、本書のカラーグラビアには貴重な動植物の生態写真や環境写真が豊富に掲載されており、本文中にも生態写真が随所に用いられているほか、北本在住の小堀文彦氏の手になる細密画も散りばめられている。虫屋にとってもお薦めの1冊といえよう。

寄せ蛾記77号 目次

斎藤 清	：最近5年間に上尾市西部地区でみられた蝶・蛾類	1987-1990
斎藤 清	：上尾市西部地区でみられたトンボ類	1990-1991
荒木 哲	：埼玉県甲虫分布資料	1992-1993
石藏 拓	：1995年 秩父地方で採集したカミキリムシ 91種	1994-1998
原 聖樹	：飯能市5月の蝶	1998
喜多 英人	：埼玉県内でのトンボ類の記録	1999-2000
山崎 正則	：埼玉県内での昆虫類の採集記録	2001-2002
西田 彰	：埼玉県下におけるトンボ類の採集記録（3）	2003-2006
西田 彰	：訂正3件	2006
内田 正吉	：埼玉県におけるアイヌテントウの採集記録と若干の考察	2007
内田 正吉	：ヤマヒメメダカッコウムシの埼玉県内陸部からの記録	2008-2009
松崎 雄一	：埼玉県蜻蛉目調査（4） 1995年4月～10月	2010-2012
松崎 雄一	：皆野町国神のオゼイトトンボ その後（1）	2013-2014
碓井 徹	：埼玉県では記録の少ないゲンゴロウ類の採集記録	2014
伊藤 智	：飯能市多峰主山で採集したトンボ3種の記録	2015
星野 正博	：Macintosh のラベル作り	2016-2017
星野 正博	：与野市内でクロヒカゲ、ミドリヒヨウモンを採集	2018
上原 市郎	：越谷市でムスジイトトンボの眼後紋消失型を採集	2019
上原 市郎	：越谷市でアオモンイトトンボ♂の黒化型を採集	2019
上原 市郎	：越谷市でホソミオツネントンボを採集	2020
吉永 潔	：蓮田市におけるネアカヨシヤンマの記録	2020
磯野 治司	：北本市蓮沼におけるトラフトンボの記録	2021
中川 利勝	：蕨市にもいたタガメ	2022-2024
須田 真一	：埼玉県でのトンボ類の目撃・採集記録	2025-2027
	書籍の紹介『北本の動植物誌』（紹介者：碓井 徹）	2027-2028
	会報	2028

（埼玉昆虫談話会、1995年12月10日、42pp）